

旭川・紋別自動車道 えんがる かみゆうべつ（遠軽～上湧別）

第3回 説明資料

令和3年2月16日

国土交通省 北海道開発局

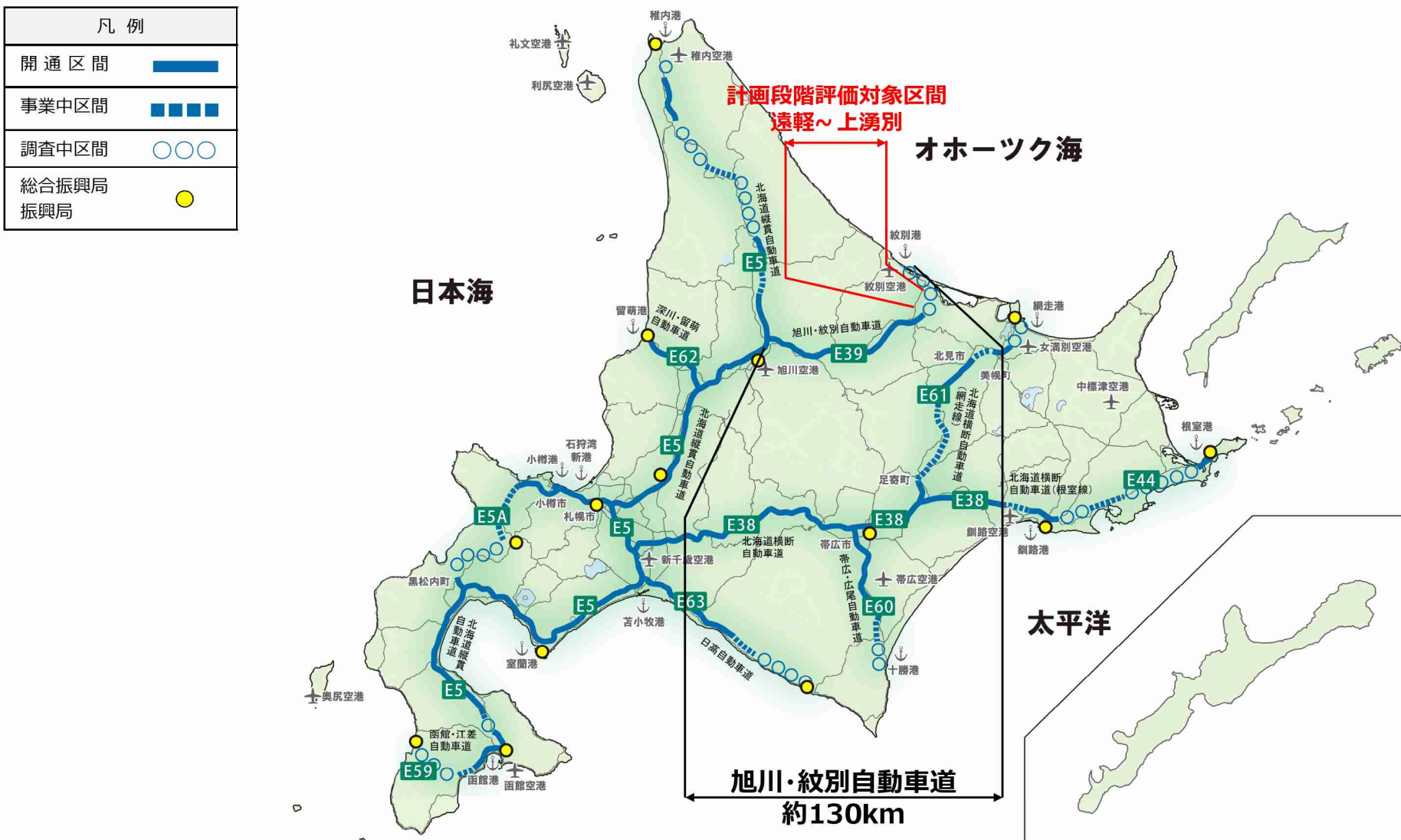
目 次

- 1.計画段階評価の検討の流れ
- 2.第2回地域意見聴取結果
- 3.対応方針（原案）の検討
- 4.自治体への意見照会結果
- 5.対応方針（案）のまとめ

1.計画段階評価の検討の流れ

1-1) 北海道の高規格幹線道路網

- 旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路で、遠軽～上湧別間はその一部区間。
- 当該区間は、調査中区間である遠軽町～紋別市間のうち、遠軽町・湧別町に位置する区間。



1-2) 旭川・紋別自動車道の進捗

○旭川・紋別自動車道は、比布JCT～遠軽IC間が開通済み（遠軽ICは令和元年12月21日に開通）。

■位置図



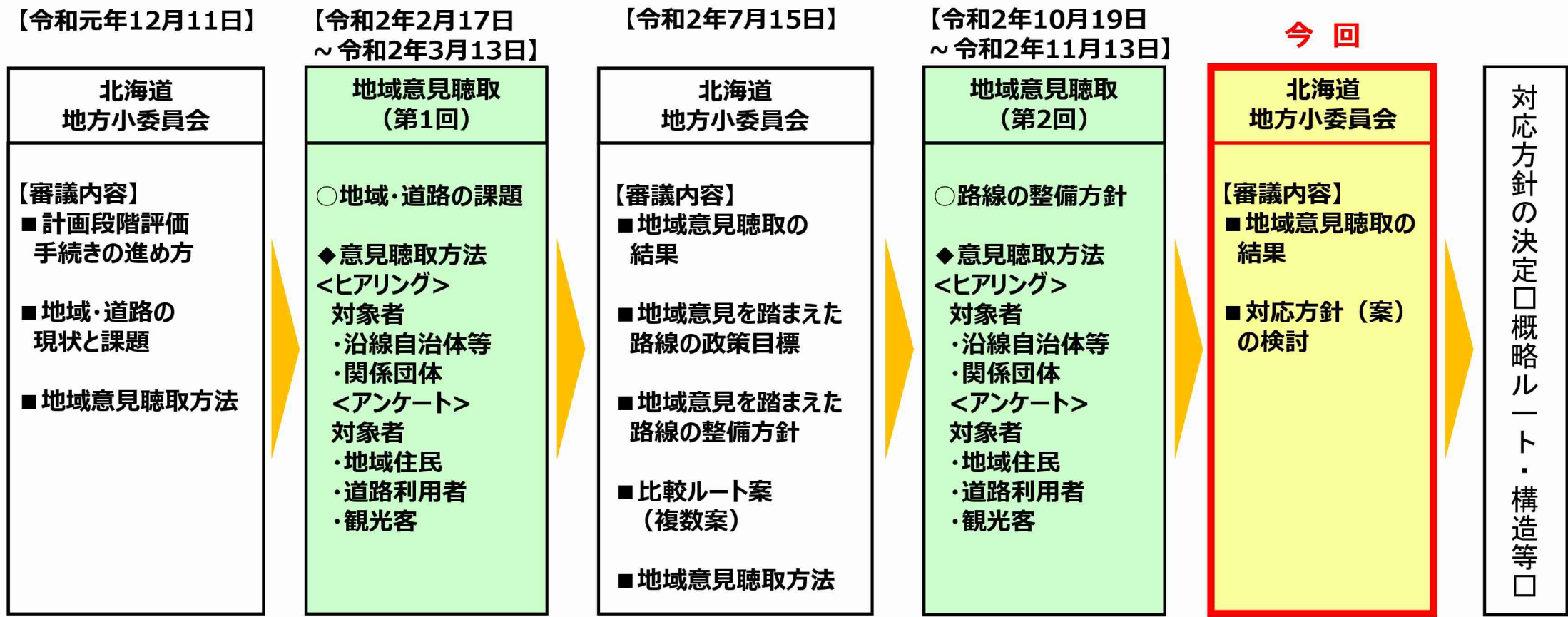
凡 例	
開 通 区 間	
事業中区間	
調査中区間	



資料：人口は平成27年国勢調査（総務省）、面積は平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）

1-3) 計画段階評価手続きの進め方 (案)

- 令和2年10月19日から約4週間、第2回地域意見聴取を実施。
- 本委員会は第2回地域意見聴取の結果、対応方針 (案) の検討について議論。



北海道地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

1-4) 前回委員会での主な意見と対応

■ 第2回計画段階評価（第24回北海道地方小委員会）の概要

実施日 令和2年7月15日
議事内容 ○地域意見聴取結果 ○地域意見を踏まえた政策目標（案） ○路線の整備方針（案） ○第2回意見聴取方法（案）

■ 主な意見と対応状況

主な意見	対応	資料
・ 計画段階評価の対象区間だけでなく、紋別までを結ぶ路線として、地域を面的な視点で考えることが重要。	・ ヒアリング調査の際に、旭川・紋別自動車道全体の整備の視点についても把握。	資料2：P24
・ 旭川・紋別自動車道という路線名称であるが、旭川市と紋別市の結び付きのみを考えるのではなく、北見方面への結び付きについても考慮すべき。	・ 政策目標達成に必要な機能に「輸送時の速達性」、「高次医療機関への速達性」を評価項目として設定し、第2回アンケート調査で北見方面への結びつきを考慮。 ・ ヒアリング調査の際に、北見方面への結び付きの視点についても把握。	資料2：P14、20、24
・ 地域意見聴取の際には、主要産業である水産業の地域事業者にも聴取すべき。また、オホーツク紋別空港や女満別空港からの二次交通としても高規格幹線道路は重要であるため、空港事業者にも聴取すべき。	・ ヒアリング対象に水産加工会社を追加し、道路の利用状況や課題、整備された場合の利活用について意見を聴取。 ・ ヒアリング対象にオホーツク紋別空港や女満別空港を追加し、道路の利用状況や課題、整備された場合の利活用について意見を聴取。	資料2：P8
・ 医療体制が脆弱である遠紋地域から三次医療機関がある北見市や二次医療機関がある遠軽町へのアクセス性を向上させることが重要。	・ 医療機関へのアクセス性については、第2回アンケート調査結果を踏まえてアクセス位置を検討。	資料2：P34
・ 北海道の地方部にとって冬期孤立は課題であり、冬期でも安全・安心して利用できることが重要。	・ 政策目標達成に必要な機能に「災害時の道路機能の確保・代替路の確保」を評価項目として設定し、アンケート調査で意見聴取を行い、冬期課題を考慮。	資料2：P14、20

2.第2回地域意見聴取結果

2-1) 第2回地域意見聴取の概要

○第2回地域意見聴取は、住民・道路利用者・観光客へのアンケート調査、および沿線自治体・関係団体へのヒアリング調査を実施。

■地域意見聴取期間 令和2年10月19日（月）から令和2年11月13日（金）

■地域意見聴取の対象

アンケート調査			
住民・道路利用者	配布	地域指定郵便により全戸配布	紋別市 : 約11,300世帯 佐呂間町 : 約 2,400世帯 遠軽町 : 約 9,500世帯 湧別町 : 約 3,700世帯 合計 : 約26,900世帯
	留置き	市役所、町役場および道の駅に調査票を常設、郵送または投函箱による回収	合計 : 11箇所
	WEB	北海道開発局網走開発建設部のホームページに開設	広く意見を聴取
	観光客	観光施設（道の駅遠軽森のオホーツク）で面談アンケート	合計 : 1箇所

ヒアリング調査			
自治体及び団体代表者	沿線自治体等	オホーツク総合振興局、紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町	合計 : 5団体
	関係団体	商工会議所（2箇所）、商工会議所女性部（1箇所） 商工会（3箇所）、商工会女性部（2箇所） 農業協同組合（4箇所）、農業協同組合女性部（4箇所） 漁業協同組合（3箇所）、漁業協同組合女性部（2箇所） 水産加工会社（2箇所）、森林組合（3箇所） 北海道トラック協会、北見地区トラック協会（2箇所） 北見地区トラック協会女性部（1箇所） バス事業者（1箇所） 北海道観光振興機構、オホーツク観光連盟（2箇所） 消防本部（2箇所）、病院（3箇所） 空港（2箇所）	合計 : 39団体

■地域意見聴取対象地域



2-2) 第2回地域意見聴取の実施状況 (アンケート調査)

○地域住民・道路利用者・観光客に対して、対応案の比較にあたって政策目標の重視度、整備にあたり配慮すべき事項、インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって配慮すべき事項について、アンケート調査を実施。

■意見聴取内容

- 回答者属性：住所、性別、年齢、職業、自動車運転頻度、遠軽～上湧別間の利用頻度・利用目的
- 問1：対策案(ルート帯案)の比較にあたって、設定した政策目標について、どの項目を重視すべきかについて
- 問2：対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すべきかについて
- 問3：インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮して計画すべきかについて
- 問4：その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についての意見等について (自由意見)

■配布形式調査票

旭川・紋別自動車道(遠軽～上湧別)における道路計画に関する第2回アンケート調査

旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別間に関するアンケート

回答は遠軽市役所に記入し、令和2年11月3日(金)までに郵便ポストに投函してください。

■質問内容 掲載欄

1. 遠軽市役所(遠軽市)の地図に、どの項目を重視すべきか記入してください。

2. 遠軽市役所(遠軽市)の地図に、どの項目を重視すべきか記入してください。

3. インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮して計画すべきか記入してください。

4. その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についての意見等について、自由記入してください。

■自治体HP

遠軽町役場

遠軽町HP

遠軽町HPのスクリーンショット。アンケート調査の案内が掲載されている。

■留置き状況



■広報誌

えんがる

広報誌「えんがる」に掲載されたアンケート調査の告知。

■WEB (網走開発建設部HP)

網走開発建設部HP

網走開発建設部のウェブサイト。アンケート調査の案内が掲載されている。

紋別市HP

紋別市のウェブサイト。アンケート調査の案内が掲載されている。

広報紙 (遠軽町)

■観光客調査実施状況



道の駅遠軽森のオホーツク

2-3) 第2回地域意見聴取の実施状況 (ヒアリング調査)

○沿線自治体・関係団体に対して、対応案の比較にあたって政策目標の重視度、整備にあたり配慮すべき事項、インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって配慮すべき事項について、ヒアリング調査を実施。

■意見聴取内容

- 問1：対策案(ルート帯案)の比較にあたって、設定した政策目標について、どの項目を重視すべきかについて
- 問2：対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すべきかについて
- 問3：インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮して計画すべきかについて
- 問4：その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についての意見等について（自由意見）

■実施状況

調査対象			実施数
沿線自治体等			5箇所
関係団体	産業団体	商工会等	8箇所
		農林水産業関連	18箇所
		物流関連	3箇所
		バス・観光関連	3箇所
		空港関連	2箇所
	医療・消防	病院	3箇所
		消防	2箇所
合計			44箇所



【沿線自治体】



【商工会】



【農業協同組合】



【漁業協同組合】



【病院】



【消防】

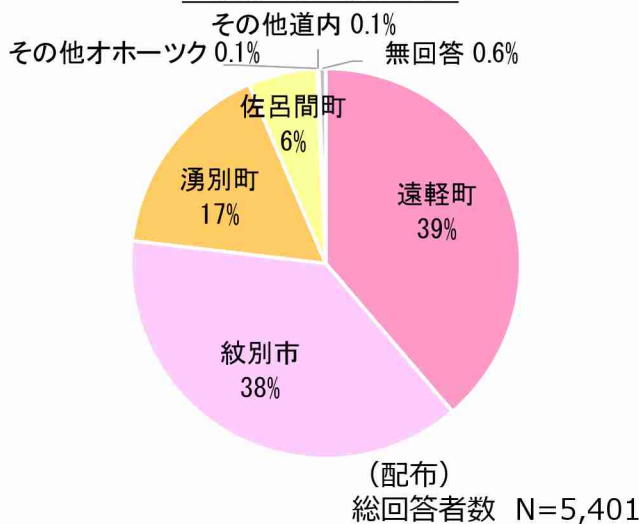
2-4) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (回収状況・居住地)

- 全回収数は6,882人で、配布形式が5,401人、留置きが325人、WEBで934人、観光客の222人が回答。
- 回答者の居住地は、沿線自治体が約96%、その他のオホーツク管内市町村、道内・道外が約4%。

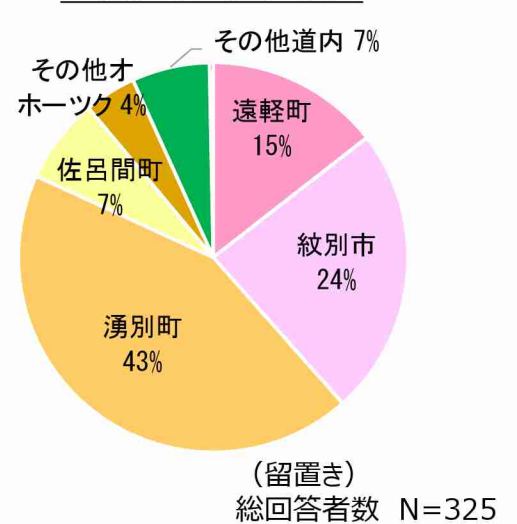
■調査票回収状況

調査形式	配布数	回収数	回収率
配布（沿線自治体）	26,900	5,401	20%
留置き（道の駅等）	—	325	—
WEB	—	934	—
観光客	—	222	—
合計		6,882	

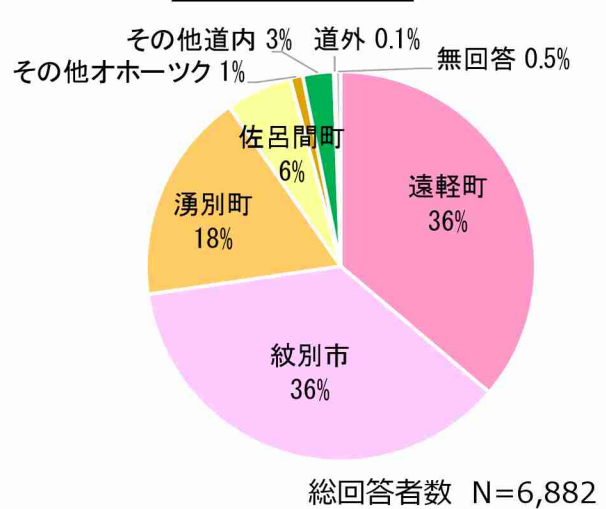
■居住地（配布）



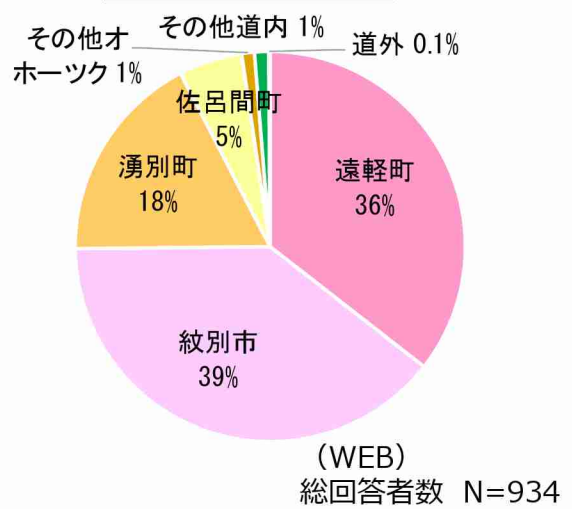
■居住地（留置き）



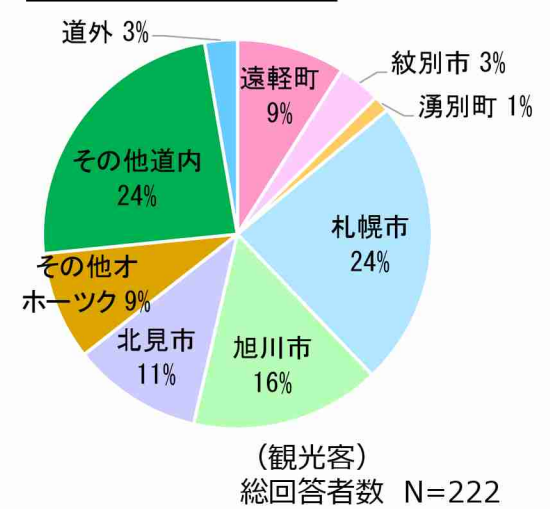
■回答者居住地



■居住地（WEB）



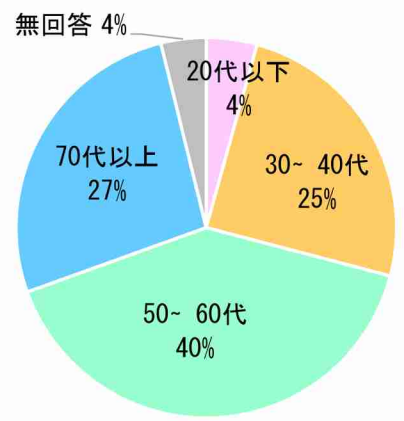
■居住地（観光客）



2-5) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (回答者属性)

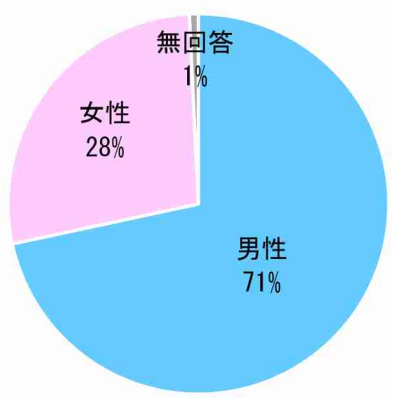
- 年齢構成は50代以上が約7割を占め、性別では男性が約7割、女性が約3割の回答状況。
- 職業については、会社員が約3割と最も多く、次いで70代以上と想定される無職が約26%、公務員が約14%。

■ 年齢



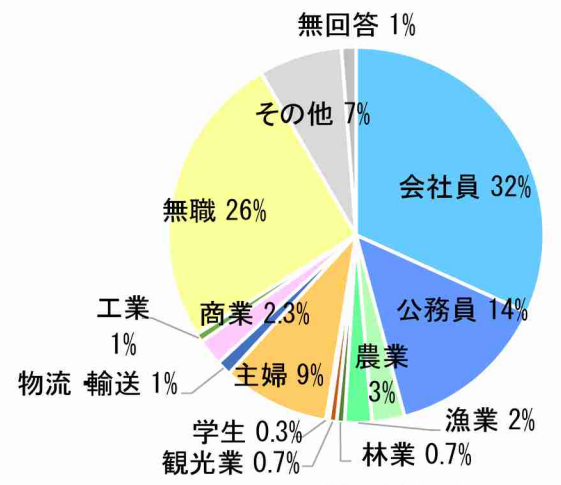
総回答者数 N=6,882

■ 性別



総回答者数 N=6,882

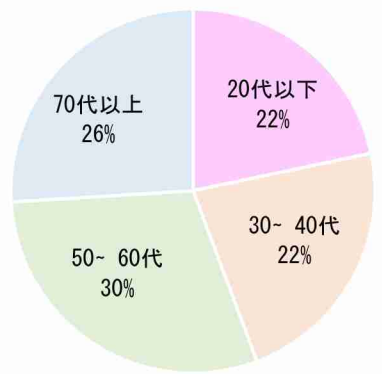
■ 職業



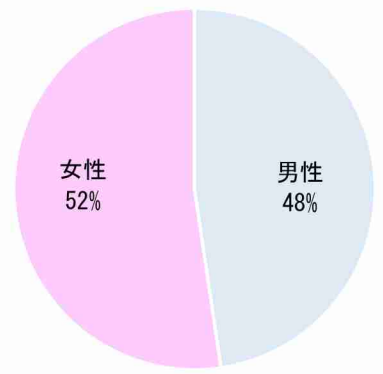
総回答者数 N=6,882

【参考】沿線自治体（紋別市・佐呂間町・遠軽町・湧別町）の統計データ

【年齢】



【性別】

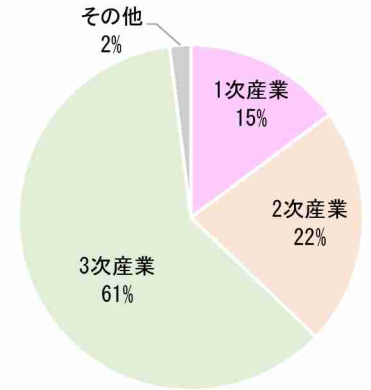


【就業者数】

	就業者数	就業率
紋別市	11,270	55%
佐呂間町	2,767	58%
遠軽町	9,676	52%
湧別町	4,775	58%
合計	28,488	55%

※就業率 = 15歳以上の人口に占める就業者の割合

【産業別就業割合】



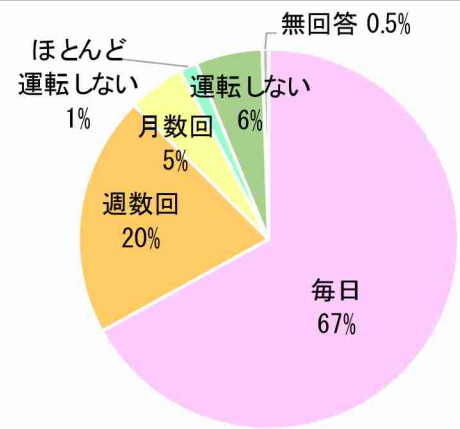
資料：平成27年国勢調査

2-6) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (利用頻度等)

- 自動車の運転頻度は、回答者の約7割が毎日運転と回答。
- 遠軽～上湧別間の利用頻度は、毎日～月数回の利用者が約7割を占めている。
- 遠軽～上湧別間の利用目的は、観光・レジャー、家事・買物、通院、仕事（営業・運送等）の順で多くなっている。

■ 自動車を運転する頻度

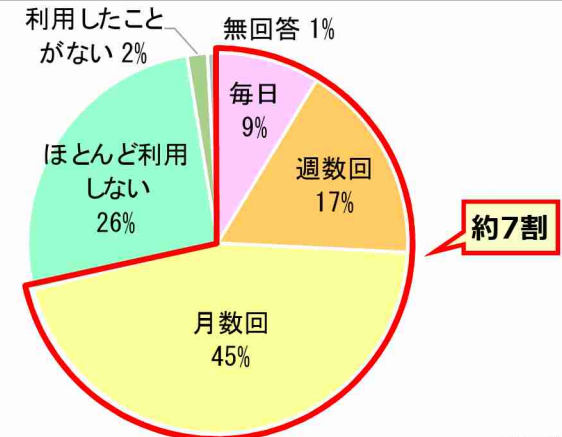
質問：自動車を運転する頻度を教えてください（単数回答）



総回答者数 N=6,882

■ 国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度

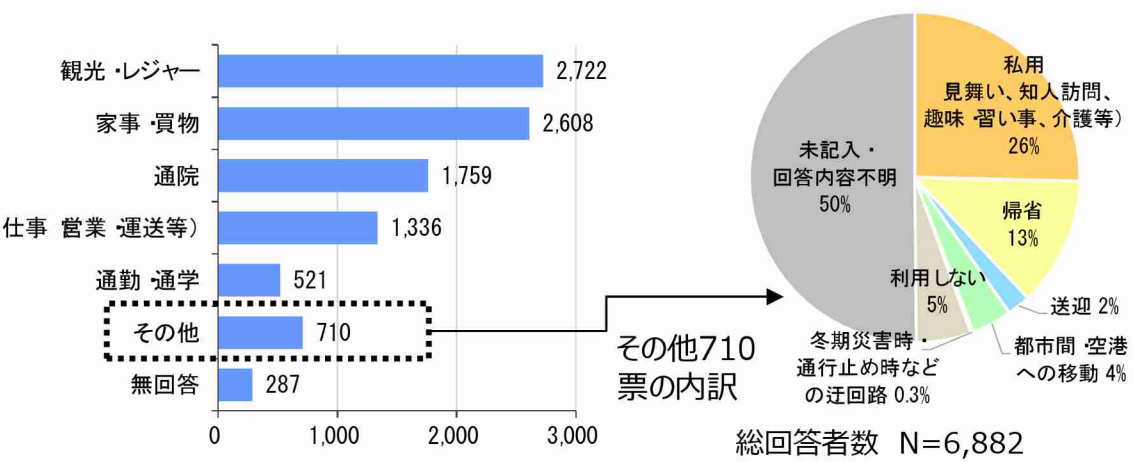
質問：国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度を教えてください（単数回答）



総回答者数 N=6,882

■ 遠軽～上湧別間の利用目的

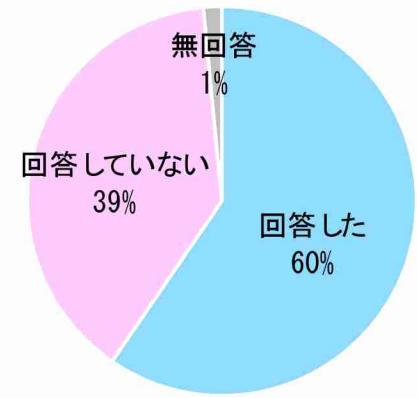
質問：遠軽～上湧別間の主な利用目的を教えてください（複数回答）



総回答者数 N=6,882

■ 前回のアンケートの回答状況

質問：前回の第1回アンケートに回答しましたか（単数回答）



総回答者数 N=6,882

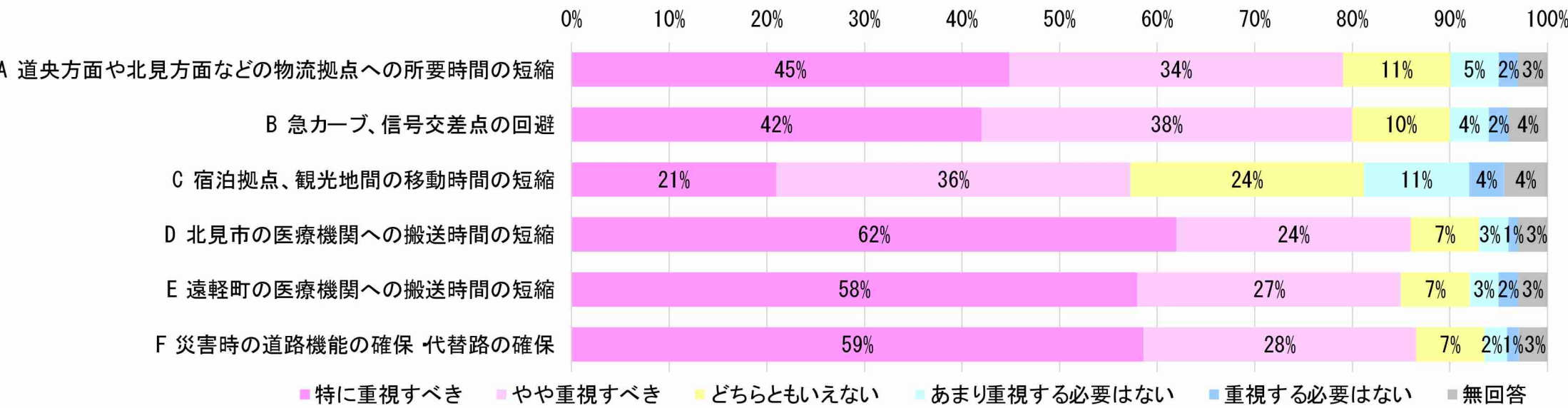
2-7) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (政策目標の重視度)

- 政策目標の重視度については、すべての項目に対し約6～9割が重視すべきと回答。
- 特に、「北見市の医療機関への搬送時間の短縮」、「遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮」、「災害時の道路機能の確保・代替路の確保」を重視すべきとの意見が約9割と多い。

問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

項目	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	1	2	3	4	5
B 急カーブ、信号交差点の回避	1	2	3	4	5
C 宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	1	2	3	4	5
D 北見市の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
E 遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
F 災害時の道路機能の確保・代替路の確保	1	2	3	4	5



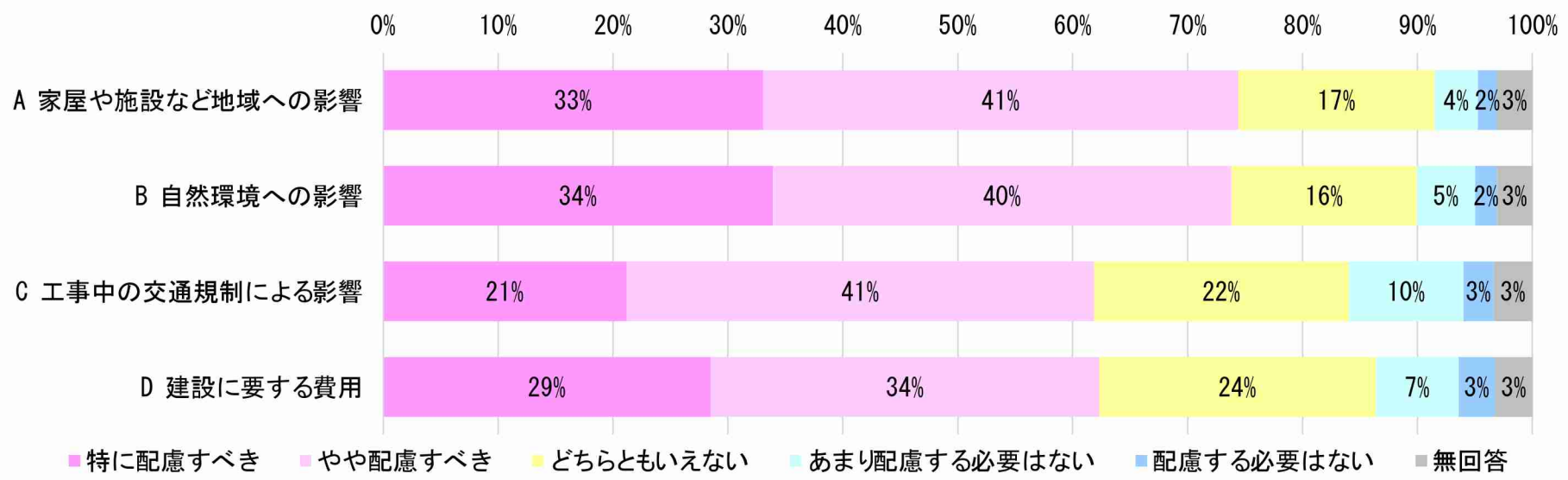
2-8) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (配慮すべき事項)

- 配慮すべき事項の重視度については、すべての項目に対し約6～7割が配慮すべきと回答。
- 特に、「家屋や施設など地域への影響」や「自然環境への影響」に配慮すべきとの意見が約7割と多い。

問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

項目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用	1	2	3	4	5



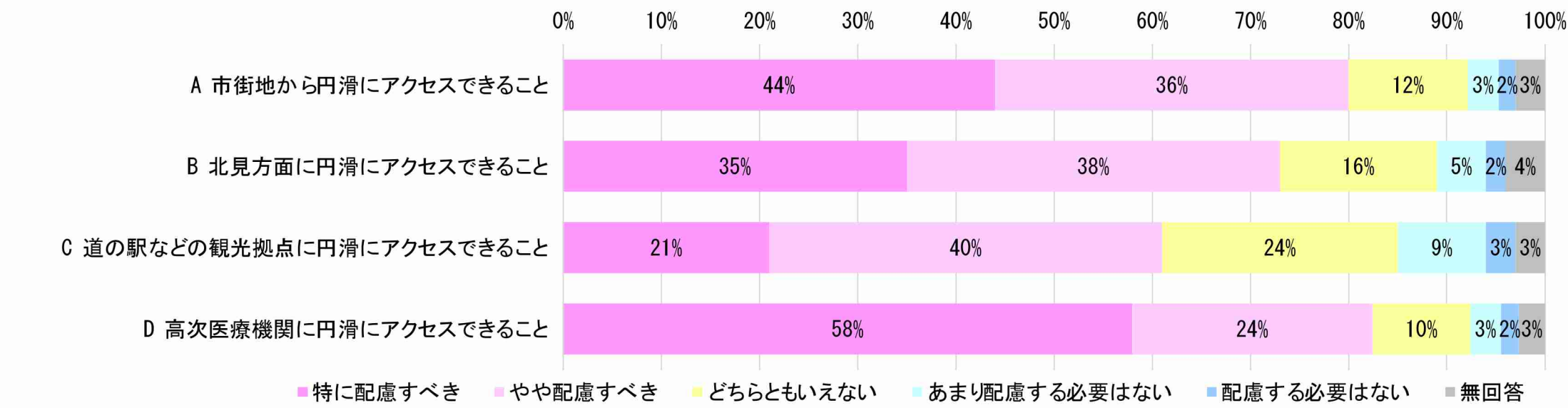
2-9) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (インターチェンジに配慮すべき事項)

- インターチェンジに配慮すべき事項の重視度については、すべての項目に対し約6～8割が配慮すべきと回答。
- 特に、「高次医療機関に円滑にアクセスできること」や「市街地から円滑にアクセスできること」に配慮すべきとの意見が約8割と多い。

問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

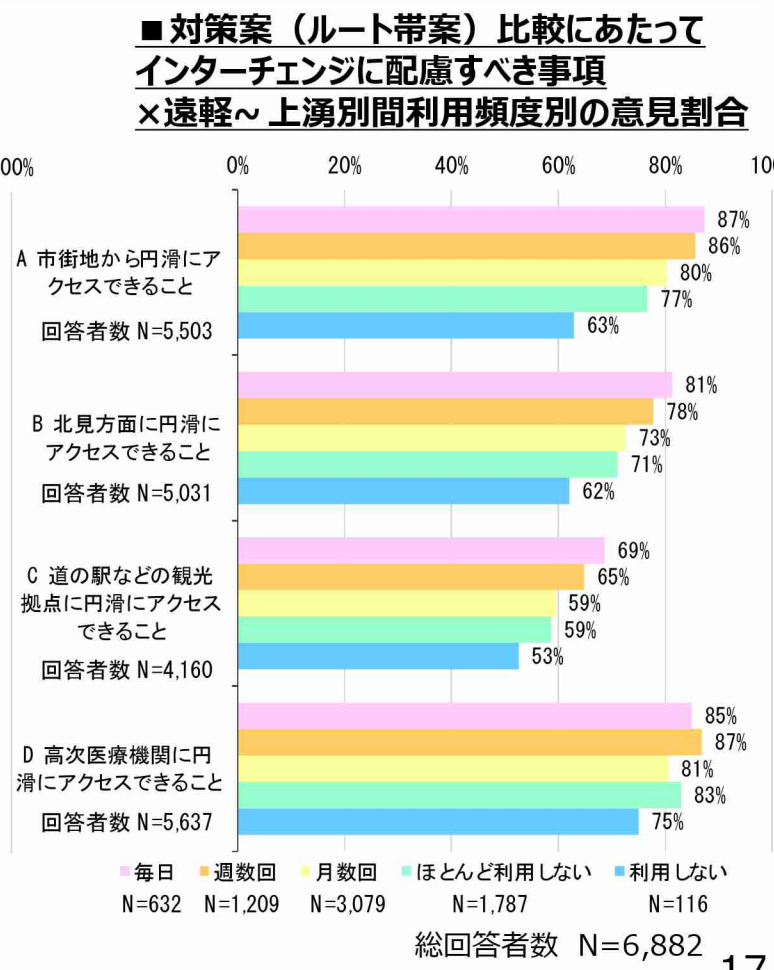
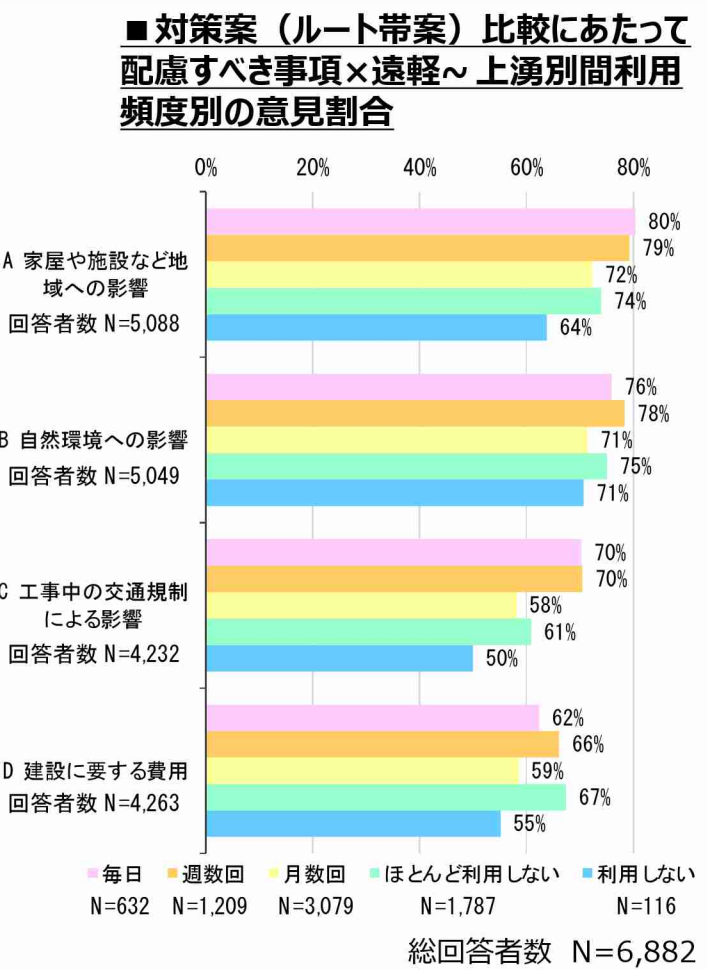
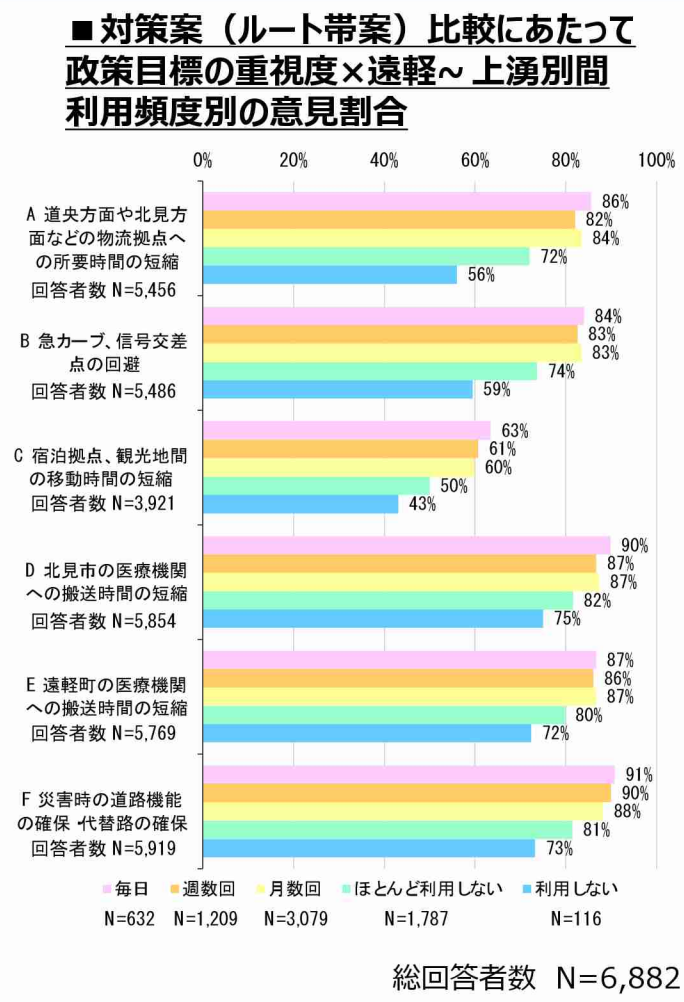
次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所 1 つに○をつけてください。

項目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地から円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
B 北見方面に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
C 道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
D 高次医療機関に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5



2-10) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (利用頻度別意見割合)

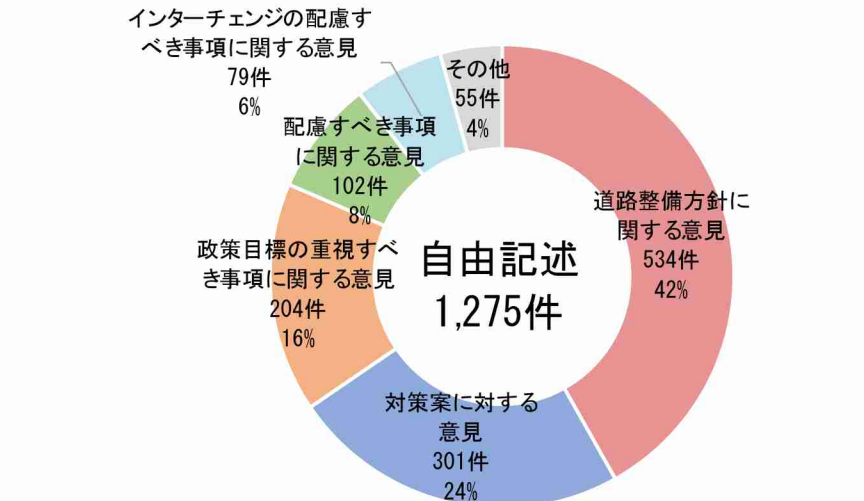
- 利用頻度別では、高頻度利用者（毎日・週数回・月数回）ほど、政策目標すべての項目について重視する割合が高い傾向。
- 配慮すべき事項では、利用頻度にかかわらず「自然環境への影響」について配慮すべきとの意見が多く、高頻度利用者ほど「工事中の交通規制による影響」等について配慮すべきという意見が多い。
- インターチェンジとのアクセスに配慮すべき事項では、利用頻度にかかわらず「高次医療機関に円滑にアクセスできること」について配慮すべきとの意見が多く、高頻度利用者は「市街地から円滑にアクセスできること」や「北見方面に円滑にアクセスできること」等について配慮すべきという意見が多い。



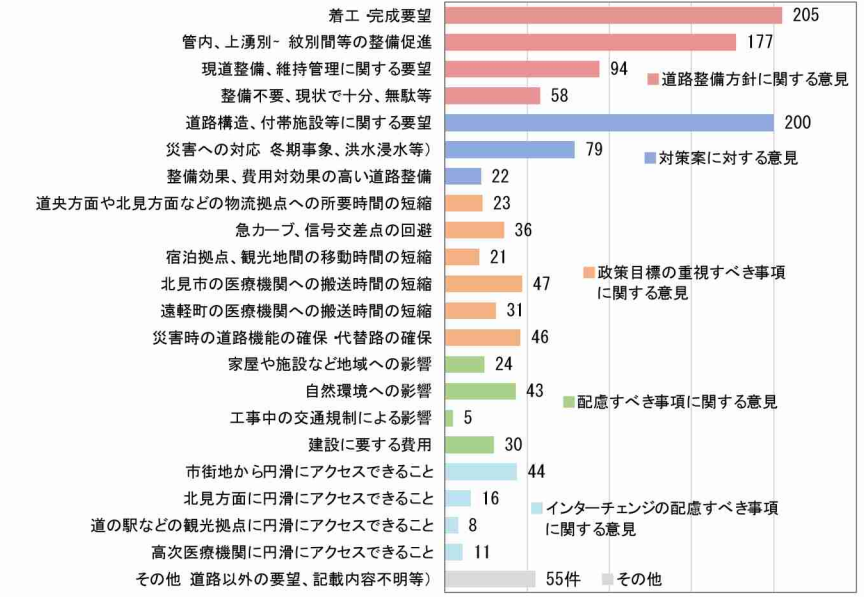
2-11) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (自由意見 その①)

○自由意見の記述では「道路整備方針に関する意見」が最も多く、次いで「対策案に対する意見」が多く寄せられた。「道路整備方針に関する意見」では着工・完成要望、「対策案に対する意見」では道路構造、付帯施設等に関する要望が多く寄せられた。

■自由意見の内容内訳



■分類別意見数



■主な意見（道路整備方針に関する意見ほか）

分類		主な意見
道路整備方針に関する意見	着工・完成要望	- 過疎化による人口減少が続き、この地域に住んでいると不満や不安が増加している。この道路の整備により買物や観光、他地域との交流が図られるため不便な状態の解消につながると考える。<u>一日も早く着工し、完成させていただきたい。</u>（遠軽町/70代男性） - 地方の人口減少、高齢化が特に進み、漁業、農業の担い手が少なくなっていることから、若い世代、子育て世代として将来が不安でなりません。地方の道路交通環境をよりよくすることで、長期的な国力の増加につながると考えております。事業や予算の都合上、致し方ないこととは思いますが、今の建設速度のより一層の向上が望まれます。<u>是非、早期の建設完了をお願い致します。</u>（紋別市/20代男性）
	管内、上湧別～紋別間等の整備促進	<u>早く紋別まで来てほしいです。</u>これができれば、札幌や旭川に早く行けます。雪が降ると陸の孤島となることもあったので、それもなくならないと思います。遠軽厚生病院や北見、旭川の病院にも救急車が早くつけようになると思います。ガリンコ号とか観光客が増えて、市内が潤うのではないのでしょうか。早く道路を作ってほしいです。（遠軽町/40代男性） <u>遠軽～北見間の道路整備を早急をお願いします。</u>冬期、北見への通院は危険であり、時間もかかる為、安全にアクセスできるよう、道路計画を進めて下さい。（湧別町/70代女性）
	現道整備、維持管理に関する要望	現在利用している現道の状況はあまり良くないので、現道の補修も進めて欲しい。（佐呂間町/70代男性）
	整備不要、現状で十分、無駄等	コロナ禍の中、新設道路の建設などもってのほか。その財源を医療感染防止、雇用対策などコロナ対策に活用すべき。（遠軽町/60代男性）
対策案に対する意見	道路構造、付帯施設等に関する要望	- 急カーブや長い坂が少ないのが好ましい。片側1車線になるとと思いますが、<u>追越しの車にあおられないように、追越車線を設けて欲しい。</u>また、80km/h以上を確保できる構造にして下さい。（遠軽町/60代男性） <u>無料の高規格幹線道路にもトイレがあるSA、PAを作って欲しい。</u>それが無理ならガソリンスタンドやコンビニが近い所にICを作って欲しい。（函館市/20代女性）
	災害への対応（冬期事象、洪水浸水等）	<u>冬のホワイトアウトが怖くて、冬はあまり遠出をしません。</u>それでも、どうしても行かなければならない用事が入ることがあります。そんな時に道路が整備されていると非常に便利です。早く整備してほしいです。（紋別市/40代男性）
	整備効果、費用対効果の高い道路整備	<u>お金はかかっても、安全で災害の時にも効果が発揮される道路整備がいい</u>と思います。（紋別市/30代男性）

2-12) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査 (自由意見 その②)

○「政策目標の重視すべき事項」では、「北見市・遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮」や「災害時の道路機能の確保・代替路の確保」についての意見が多く、「配慮すべき事項」では「自然環境への影響」に対する意見、「インターチェンジの配慮すべき事項」では「市街地から円滑にアクセスできること」に関する意見が多く寄せられた。

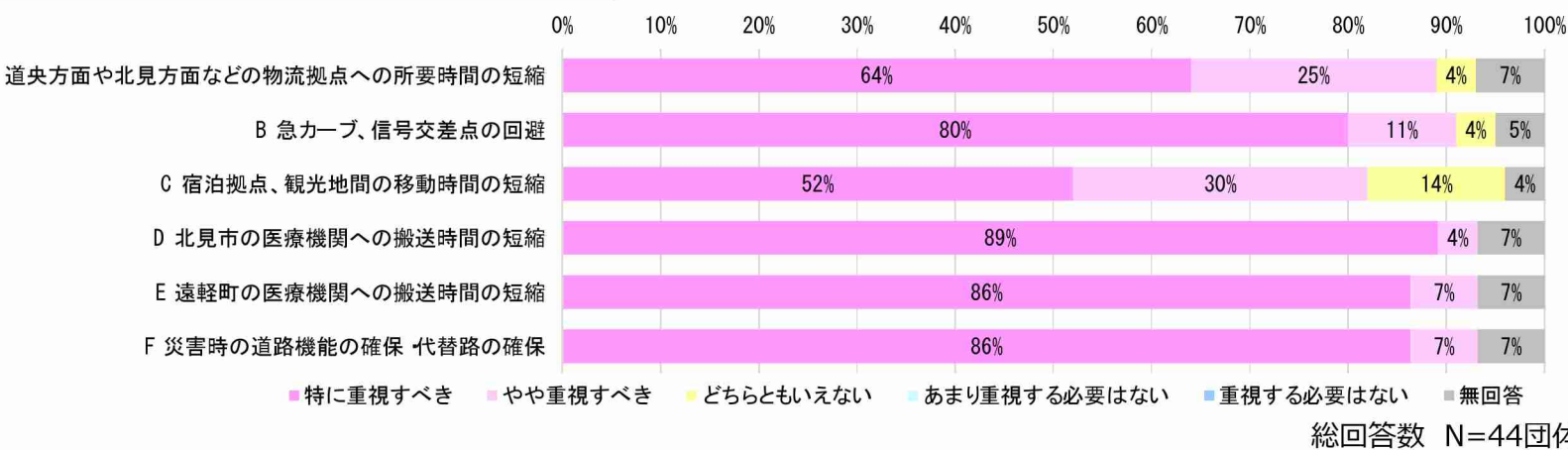
■ 主な意見（政策目標の重視すべき事項に関する意見ほか）

分類		主な意見
政策目標の重視すべき事項に関する意見	道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	・ 過疎化した地方の活性化、紋別市の水産、農業の一次産業を発展させる為に、 <u>道央や本州への物流の迅速化を図る為</u> 、時間短縮そして安全な交通に寄与することを期待しています。(佐呂間町/60代女性)
	急カーブ、信号交差点の回避	・ <u>高齢者に優しい道路（急カーブや見通しの悪い交差点等がない）を要望</u> します。この地域は道路が整備されなければ、今以上に生活が難しい街になります。早期整備をお願いします。(遠軽町/70代女性)
	宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	・ <u>丸瀬布の藤園や遠軽の太陽の丘など観光施設へのアクセス向上が重要</u> であり、観光活性化のために配慮して欲しい。(遠軽町/40代男性)
	北見市の医療機関への搬送時間の短縮	・ 先日知り合いが脳梗塞で遠軽から北見赤十字病院まで1時間半近くかかり、後遺症が残りました。遠軽～ 上湧別間に加え、高次医療機関のある北見までの道路も何とか早急に整備して頂きたいと思っています。(遠軽町/40代男性)
	遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	・ 私を含め紋別市民の中には病気によっては地元の病院で対応してもらうことができず、止むを得ず遠軽や北見、場合によっては旭川まで行かなければならない状況にあります。私は78歳の高齢なので冬期間の車の運転には天気及び道路状況（吹雪、地吹雪、凍結等）で不安に思いながらも運転して通院せざるを得ません。高規格幹線道路になれば通院時間が短縮され、とても助かります。(佐呂間町/70代男性)
	災害時の道路機能の確保・代替路の確保	・ 遠紋地域に関しては、特に最近では冬季の通行止が多くなっていると感じます。数年前の湧別の痛ましい事故や、暴風雪時の不要不急の外出で車両をスタックさせて、結果交通が麻痺してしまうなど様々な要因があると思います。ただし、 <u>国道242号遠軽～ 湧別に関しては、ここを通行止にしてしまうと紋別以北の物流がほぼストップし、急病人等の搬送手段も断たれ、陸の孤島化となってしまいます。</u> (紋別/40代男性)
配慮すべき事項に関する意見	家屋や施設など地域への影響	・ 国道242号沿いの既存店舗や建物・家屋に影響するのが心配です。(遠軽町/70代男性)
	自然環境への影響	・ 道路は人間活動に欠かせないが、環境や生物に多大な影響を与える。環境や生物への影響を少なくする工夫、動物の交通事故に対する配慮等も重視してほしい。(紋別市/40代女性)
	工事中の交通規制による影響	・ 道路整備による交通規制は出来るだけ、 <u>通勤時は避けるか規制時間を短くして欲しい。</u> (紋別市/50代女性)
	建設に要する費用	・ 費用を抑えて道路を作ることは必要だが、 <u>安く道路を作っても後で舗装に穴が空いたりしても意味が無いので、しっかり整備してほしい</u> (網走市/40代男性)
インターチェンジの配慮すべき事項に関する意見	市街地から円滑にアクセスできること	・ <u>遠軽市街地へのアクセスを考慮した位置にインターチェンジを設置して欲しい。</u> (遠軽町/50代男性)
	北見方面に円滑にアクセスできること	・ 湧別の生活圏でいうと旭川市や紋別市より北見市への往来が多いと思います。旭川・紋別自動車道の遠軽から分岐して北見方面へ連絡ができれば非常に生活が楽になります。また計画段階から工事まで何十年とかかかっては人口なども変化し、今のニーズとは変わってくることも考えられますので迅速に建設してもらえるように要望します。(遠軽町/40代男性)
	道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	・ <u>地元の人、観光客それぞれにとって、プラスになるような道路づくりをしてほしい。</u> (遠軽町/20代男性)
	高次医療機関に円滑にアクセスできること	・ これから医療面で心配な年齢になってきます。特に高次医療機関への円滑なアクセスを望んでいます。(紋別市/40代男性)
その他	その他（道路以外の要望、記載内容不明等）	・ 旭川・紋別自動車道の整備の状況がまわりで周知されていないので、もっと <u>工事の状況を情報発信して欲しい。</u> (遠軽町/30代男性)

2-13) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査 (政策目標の重視度)

- 政策目標の重視度については、すべての項目に対し約8割以上が重視すべきと回答。
- 特に「急カーブ、信号交差点の回避」、「北見市の医療機関への搬送時間の短縮」、「遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮」や「災害時の道路機能の確保・代替路の確保」を重視すべきとの意見が約9割と多い。

■ 対策案の比較にあたって、重視すべき項目



問 1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

A.道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮
B.急カーブ、信号交差点の回避
C.宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮
D.北見市の医療機関への搬送時間の短縮
E.遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮
F.災害時の道路機能の確保・代替路の確保

注：「重視すべき」は「特に重視すべき」と「やや重視すべき」を選択した合計の割合で記載。

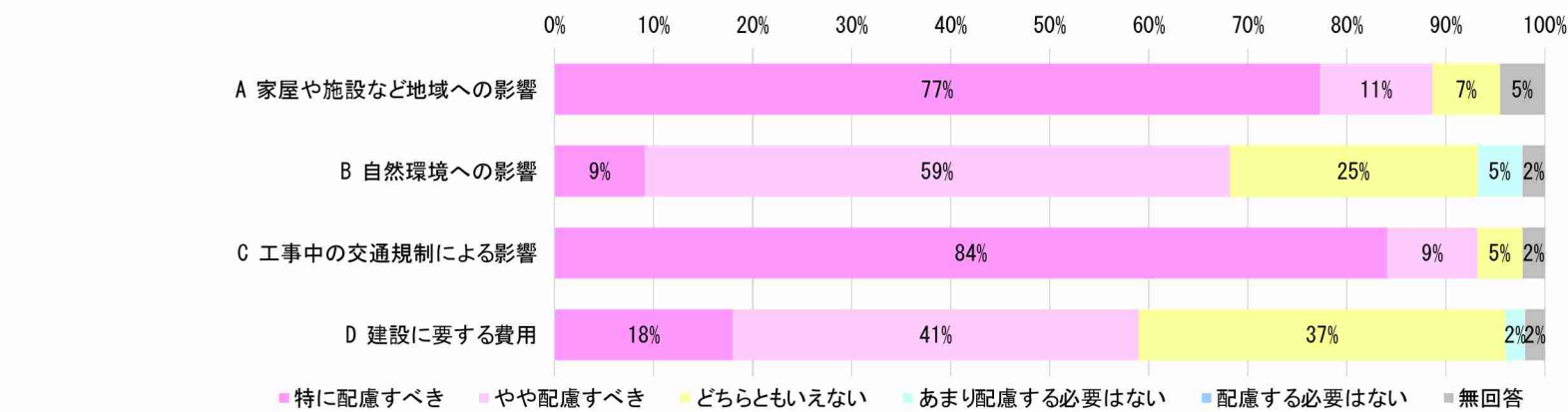
■ 選択した項目が重視すべきと思う理由

項目	主な意見
道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	・ 労働時間の厳格化を求められている中、全体の輸送を効率化するための調整に苦労している。輸送コストについては、農協が負担しており、商品の価格には反映していない。道央圏等の消費地に近い生産拠点の方が運送コストは安くなり、遠紋地域の生産者は不利なのが現状である。遠軽～上湧別間で時間短縮が図られる道路を整備して貰いたい。【農業協同組合】
急カーブ、信号交差点の回避	・ 木材の運搬は、紋別市のバイオマス発電所と丸瀬布や安国方面を行き来している。木材のチップは、湧別町から留辺蘂へ輸送している。重い木材を運搬しているため、遠軽市街地の信号や急カーブを避け、道道や町道等の抜け道を利用している。信号交差点での停止は、重い木材を運搬している大型トラックにとって、非常に危険を感じるため、市街地を回避できる道路を整備して貰いたい。【森林組合】
宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	・ 各都市間の距離が長く、遠紋地域の特色である花回遊に時間がかかっている。観光地間の移動時間の短縮が図られる道路が整備されれば、地域の特色をアピールしやすくなる。【商工会議所】
北見市の医療機関への搬送時間の短縮	・ 遠軽、紋別から北見へは、都市間の距離が長く、1分1秒でも速く搬送できる道路を整備して貰いたい。特に、ハイリスクを伴う出産は、遠軽からの搬送により、北見赤十字病院でも受け入れを行っている。【病院】
遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	・ 紋別市から遠軽町へは1時間かかってしまっている。救急搬送時間を1分1秒でも短縮することが重要な課題である。時間短縮の整備効果が高い道路を整備して貰いたい。暴風雪時等の気象条件によって、ルートの選択肢が増えると良いと思う。国道242号を走行している際、冬期地吹雪による、救急車両の減速、搬送時間の遅れが課題となっている。【消防】
災害時の道路機能の確保・代替路の確保	・ 遠軽市街地の洪水浸水想定区域、郊外の地吹雪区間を回避・解消できるかが重要であると思う。自然災害発生時の代替路として機能できることが重要であると思う。【自治体】

2-14) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査 (配慮すべき事項)

- 配慮すべき事項の重視度については、すべての項目に対し約6割以上が配慮すべきと回答。
- 特に「工事中の交通規制による影響」や「家屋や施設など地域への影響」に配慮すべきとの意見が約9割と多い。

■ 対策案の比較にあたって、配慮すべき事項



問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

A. 家屋や施設など地域への影響
B. 自然環境への影響
C. 工事中の交通規制による影響
D. 建設に要する費用

■ 選択した項目が配慮すべきと思う理由

総回答数 N=44団体

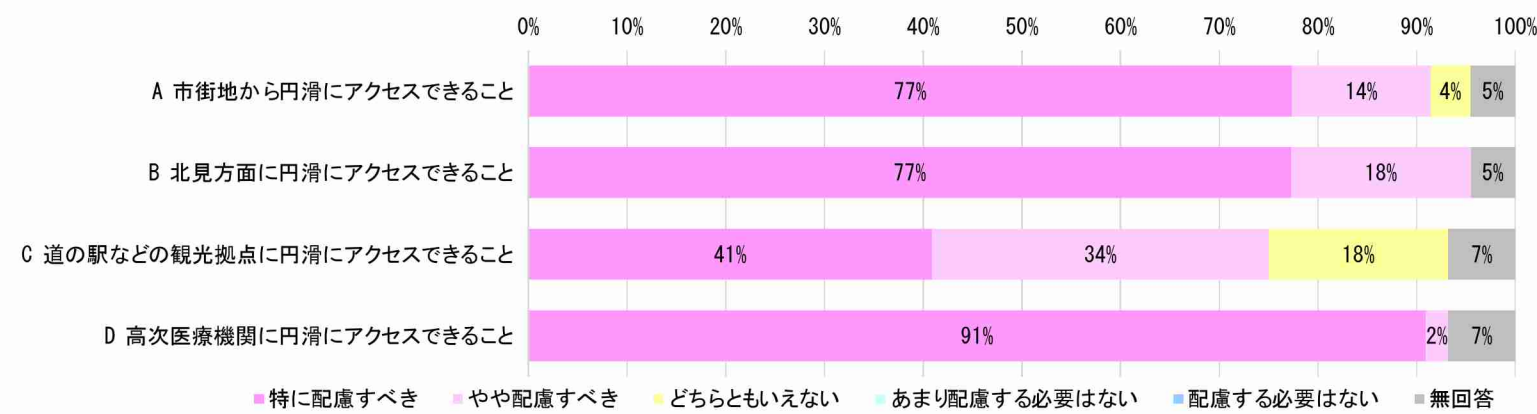
項目	主な意見
家屋や施設など地域への影響	・ 遠軽市街地に開業されたばかりの商店もあると思うので、地域への影響は最小限にして貰いたい。【商工会議所 女性部】
自然環境への影響	・ 別線整備ルートとなると、上湧別側は山地となっているため、山地改変面積を最小化する等の自然環境への配慮は必要であると思う。【自治体】
工事中の交通規制による影響	・ 工事中の交通規制が長期にわたると、遠軽町民の方、遠軽市街地を通過する物流、観光、医療に係る方にとって非常に影響を受けてしまうため、極力避けてもらいたい。【商工会】
建設に要する費用	・ 一般的に建設にかかる費用は安い方が良いと思う。一方、コスト縮減よりも、時間短縮や円滑性等の整備効果が最大限発揮される道路整備をして貰いたい。新規で整備する道路については、壊れにくい道路を整備して貰いたい。【農業協同組合 女性部】

注：「配慮すべき」は「特に配慮すべき」と「やや配慮すべき」を選択した合計の割合で記載。

2-15) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査 (インターチェンジに配慮すべき事項)

- インターチェンジに配慮すべき事項の重視度については、すべての項目に対し約8割以上が配慮すべきと回答。
- 特に「市街地から円滑にアクセスできること」、「北見方面に円滑にアクセスできること」、「高次医療機関に円滑にアクセスできること」に配慮すべきとの意見が約9割と多い。

■ インターチェンジとのアクセスの検討にあたって、配慮すべき事項



問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

A.市街地から円滑にアクセスできること
B.北見方面に円滑にアクセスできること
C.道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること
D.高次医療機関に円滑にアクセスできること

■ 選択した項目が配慮すべきと思う理由

総回答数 N=44団体

項目	主な意見
市街地から円滑にアクセスできること	・ 遠軽町に行く目的のある方、遠軽町民のアクセス性が良い道路が整備されると良いと思う。遠軽駅、遠軽厚生病院へのアクセス性が良い道路等に接続されると、より使いたいと思える道路になると思う。【漁業協同組合】
北見方面に円滑にアクセスできること	・ 現在、供用されている遠軽ICだと、北見方面との行き来は遠回り感があるため、遠紋地域と北見方面との行き来では利用したいと思えないのではないかな。遠軽～上湧別間を整備するにあたっては、北見方面とのアクセス性に配慮して貰いたい。【トラック協会】
道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	・ 道の駅遠軽森のオホーツクはICに隣接しているため、アクセス性が確保されていると思う。遠軽の観光スポットとして、瞰望岩はコスモスフェスタの時期に立ち寄り方が多く、観光施設にアクセスしやすいことは重要であると思う。【自治体】
高次医療機関に円滑にアクセスできること	・ 高次医療機関である、遠軽厚生病院や北見赤十字病院への救急搬送の時間短縮が重要な課題である。高次医療機関へ円滑にアクセスできる道路を整備して貰いたい。【消防】

注：「配慮すべき」は「特に配慮すべき」と「やや配慮すべき」を選択した合計の割合で記載。

2-16) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査 (その他配慮すべき項目や意見)

○その他配慮すべき項目や意見として、今後の事業計画や整備後の利活用、産業、観光、医療、防災等の観点で様々な意見が寄せられた。また、関係団体（女性部）からのヒアリングでは、街づくり等の観点で意見が寄せられた。

その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

項目	主な意見
その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備	- 道路ネットワークがつながることが重要で、自治体としては早期に道路を整備して貰いたい。【自治体】 - 大型トラックにとって、急勾配は運転しづらい。大型トラックは移動速度に制限があり、一般車両より遅いため追い越し車線がないと、大型車両、一般車両の運転手ともにストレスに感じてしまうと思う。【トラック協会】 - 国道が渋滞している花観光の時期は、農作物を運ぶトラックが農道を抜け道として通行している。付近には、学校もあるため、安心できない。特にチューリップの時期は、定植の時期と重なっているため、できる限り渋滞を解消できる高規格幹線道路の整備をお願いしたい。【農業協同組合】 - 高規格幹線道路が整備されると安定して走行できるので荷崩れしない。これまで、生ものを輸送する場合は、カーブや信号などの振動がストレスとなって、身が固くなり、半値以下に落ちてしまうという問題もあった。中身の品質の維持も重要だが、外箱の段ボールがつぶれていないことも、価格や品質に関わってくる。【水産加工会社】 - JRが廃線となってしまっている地域こそ、高規格幹線道路がつながると利便性が向上すると思う。冬期の移動時間の短縮や安全性の確保は、観光を推進していく中で、大きなネックになっている。安心して走れる道路があると、観光としても安全性の向上を考えやすくなる。【空港】 - 地域住民は、紋別空港の利用が大多数であるが、女満別空港を利用している観光客にとって、遠紋地域がより近く感じられる道路整備をして貰いたい。【自治体】 - 遠軽～上湧別間の道路が使いやすければ、旭川から遠軽厚生病院にきている出張医の移動手段の一つとして車を使用することも選択肢となると思う。また、紋別の出張医は旭川からJRで遠軽まで来て、車に乗り換えて紋別へ向かっていると聞いている。旭川・紋別自動車道の延伸によって、より速く便利になれば良いと思う。【自治体】 - 医療面の課題を多く解決する道路であると思うので、利用者は高齢者も多く含まれてくると思う。近年、課題となっている高齢者の誤進入防止対策も重要なのではないかとと思う。【農業協同組合 女性部】 - 災害時に自衛隊が拠点となると思う。遠軽自衛隊のアクセス性も重要で、災害時に活用しやすい道路形状やアクセス位置の選定をして欲しい。【自治体】 - 災害時には、自衛隊が支援等の中心となると思う。ルートやインターチェンジのアクセスの検討に考慮していただきたいと思う。【商工会】 - 郊外に高規格幹線道路が整備されても、まちに魅力があれば立ち寄っていただける。旭川・紋別自動車道の整備を契機として、まちの活性化、魅力の向上を図っていきたいと考えている。遠軽駅付近には、文化センターを建設中である。市街地に来ていただくための取組を継続的に実施していきたい。【商工会議所 女性部】

2-17) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査 (その他配慮すべき項目や意見)

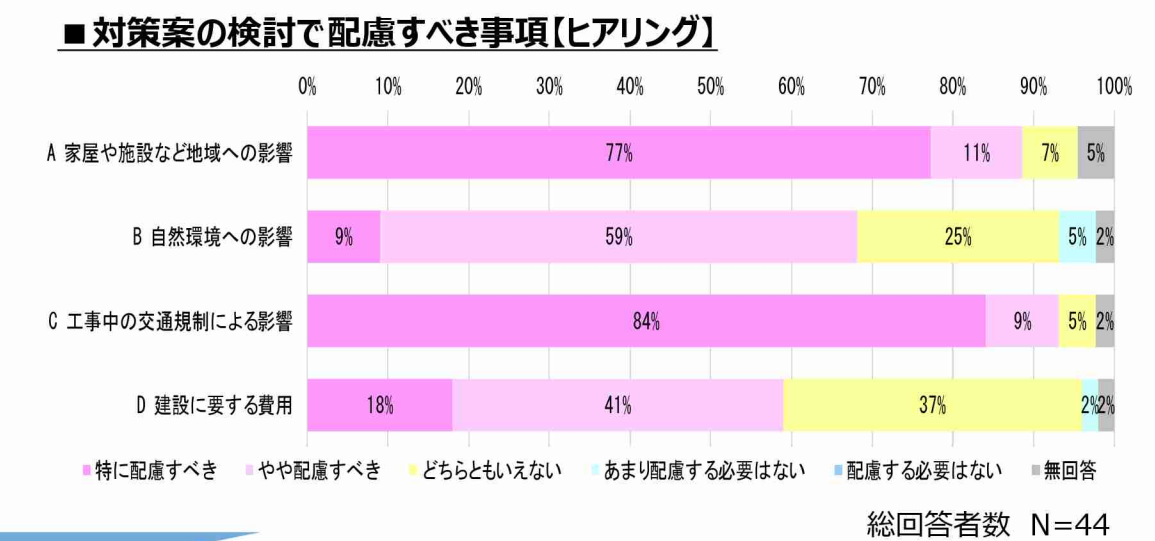
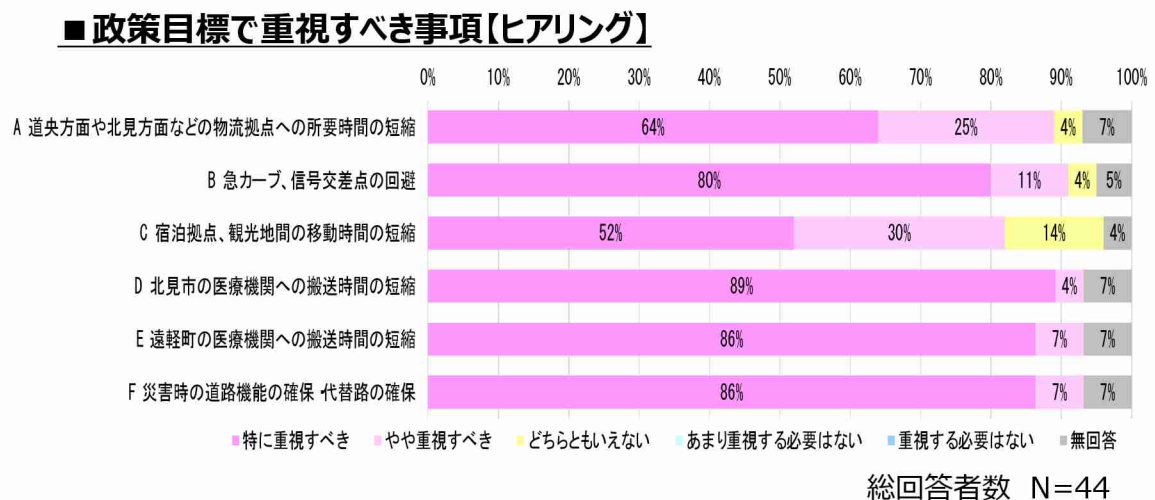
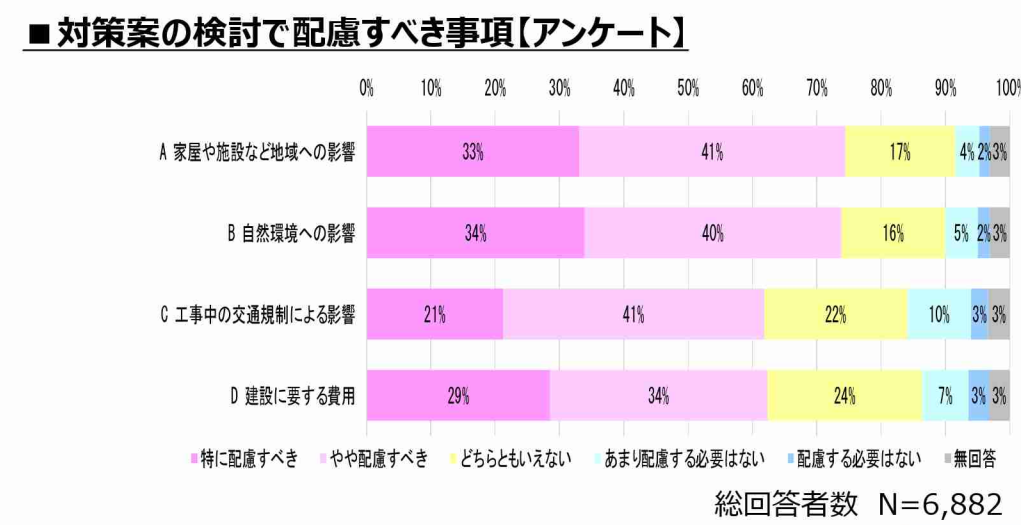
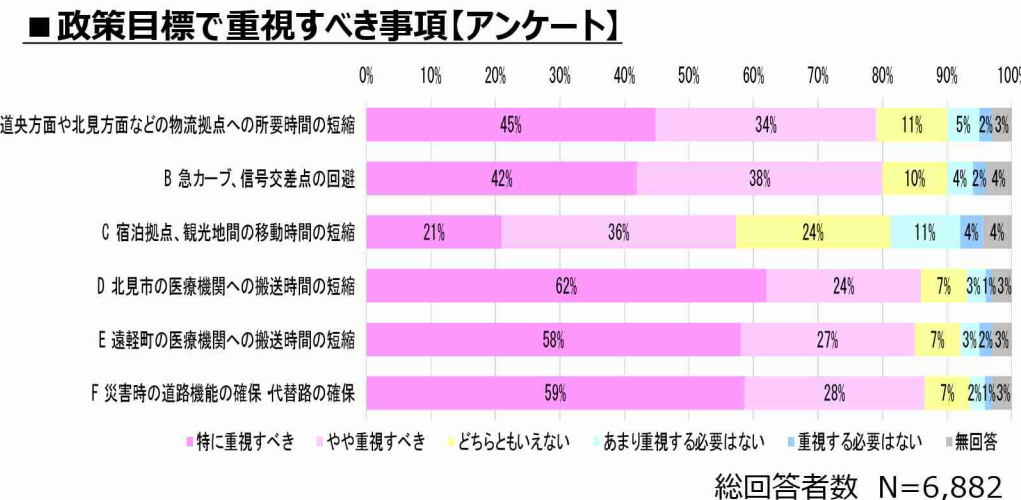
○その他配慮すべき項目や意見として、紋別市、北見市への所要時間短縮による期待について、様々な意見が寄せられた。

その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

項目	主な意見
遠軽～上湧別間の整備により紋別まで近くなることによる変化	- 物流の面では、円滑に輸送できることにつながる。海産物の鮮度を保ちながら輸送できることは、重要であると思う。組合の職員は、紋別に住んでいる人が多いが、船の乗組員は湧別から通勤してきている人もいる。紋別まで延伸された時には、通勤時間が短くなることで遠い地域から来てもらえるようになると思う。乗組員の人材不足が喫緊の課題となっている。【漁業協同組合】 - 紋別の生乳工場への生乳運搬の安定性向上、時間短縮が見込めると思う。平成26年の豪雪災害の際には、国道の通行止めにより運搬ができず、生乳を廃棄していた。【農業協同組合】 - 広域紋別病院では、初産の方に対応できないため、遠軽厚生病院や北見赤十字病院へ搬送されている。過去には、搬送途中で産まれてしまったり、冬期の視界不良、吹き溜まり等による事故が発生してしまっている。安心して出産ができる環境を整備するため、紋別市までの延伸が必要であると思う。【商工会議所 女性部】 - 出張医の先生は、旭川医大や札幌医大から紋別に来ていただいております。現状、遠軽までJRやバスで来て、紋別まではタクシーや広域紋別病院として送迎を行っている。旭川・紋別自動車道が紋別まで延伸されれば、出張医の先生への負担が減り、来ていただきやすくなる。【病院】 - 女満別空港から道東圏に入ってくる観光客は、網走から阿寒、釧路方面の周遊観光バスを利用していると思う。遠紋地域は、都市間の距離が長く時間がかかるため、観光バスの経路として敬遠されていると思う。紋別までの延伸によって、観光コースの選択肢が増え、紋別空港の利用者が増えるのではないかと思います。現状、空港の利便性があまりよくないため、紋別市へは立ち寄りが多く、宿泊まで至っていないと思う。新千歳空港、女満別空港in紋別空港out等の選択肢が増えることによって、利用者も増加するのではないかと思います。【商工会議所】 - 紋別市では、ガリンコ3号を新設している。遠紋地域の各市町村が魅力の向上を図っている。単独の市町村ではなく、遠紋地域全体として、魅力の向上、地域の活性化を図っていききたい。花回遊の目的も遠紋地域全体の魅力と考えている。旭川・紋別自動車道が紋別まで延伸されれば、より魅力の発信に有効性があると思う。【商工会議所】 - 旭川・紋別自動車道として、紋別まで延伸できた時には、吹雪等の危険性があるルートよりも、安心して走れる高規格幹線道路を使うようになるのではないかと思います。トラックドライバー、花観光時期の自動車移動の方の負担軽減になるのではないかと思います。【農業協同組合】
遠軽～上湧別間の整備により北見まで近くなることによる変化	- 北見市から船の乗組員が来てくれている。特に春先のホタテの稚貝の時期には、多くの方に来ていただいている。【漁業協同組合】 - 物流、観光、医療のどの面からみても、北見と遠軽のアクセス性は向上してほしいと思う。特に、遠軽北見道路と旭川・紋別自動車道の接続も考慮してもらいたい。【農業協同組合】 - 北見赤十字病院と遠軽厚生病院は、COVID-19感染症の診療でも連携を図っており、道路整備でより良い連携が期待される。【病院】 - 会議の参加や、技師、看護師の研修で北見に行くこともある。新しい診療科目を始める際には、研修のため北見に研修医を派遣している。北見方面へのアクセス性が良くなると、こうした活動もしやすくなると思う。【病院】 - 女満別空港を利用している観光客が遠紋地域に入ってきてやすくなる。【自治体】 - 北見赤十字病院への通院や電化製品等の買い物のため、北見市へ行っている方が多い。現状では、国道242号、国道333号とJRしか交通手段がない。少しでも北見方面にアクセスしやすい道路を整備してほしい。【商工会議所】

2-18) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート・ヒアリング調査まとめ

○第2回意見聴取の結果、対策案（ルート帯案）の検討・比較にあたって、政策目標の重視度、配慮すべき事項について確認。

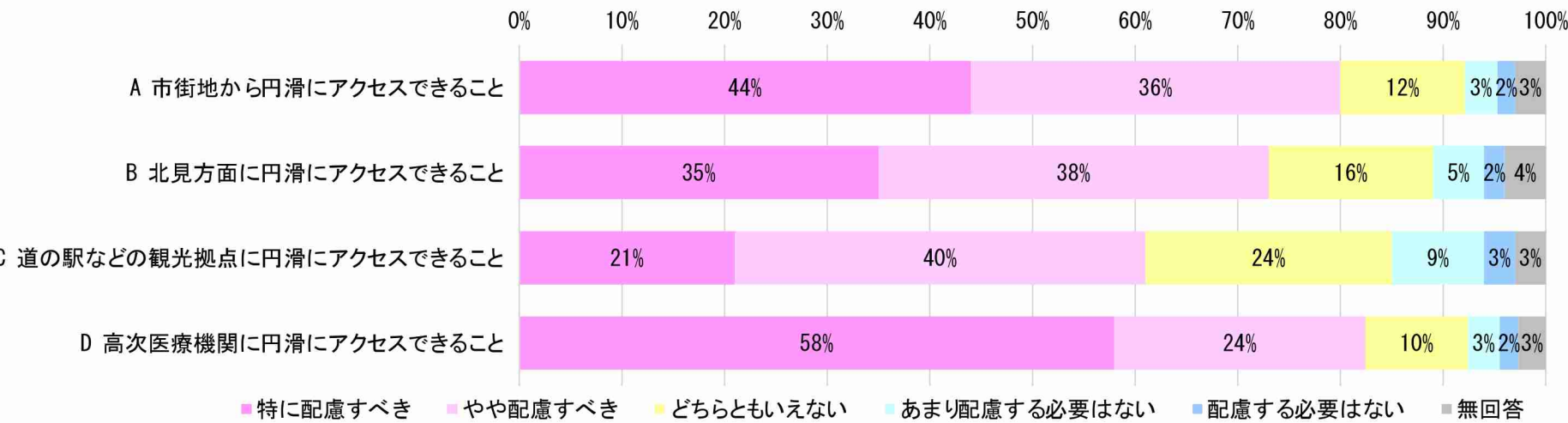


アンケート、ヒアリング結果から路線の対応方針案について検討

2-19) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート・ヒアリング調査まとめ

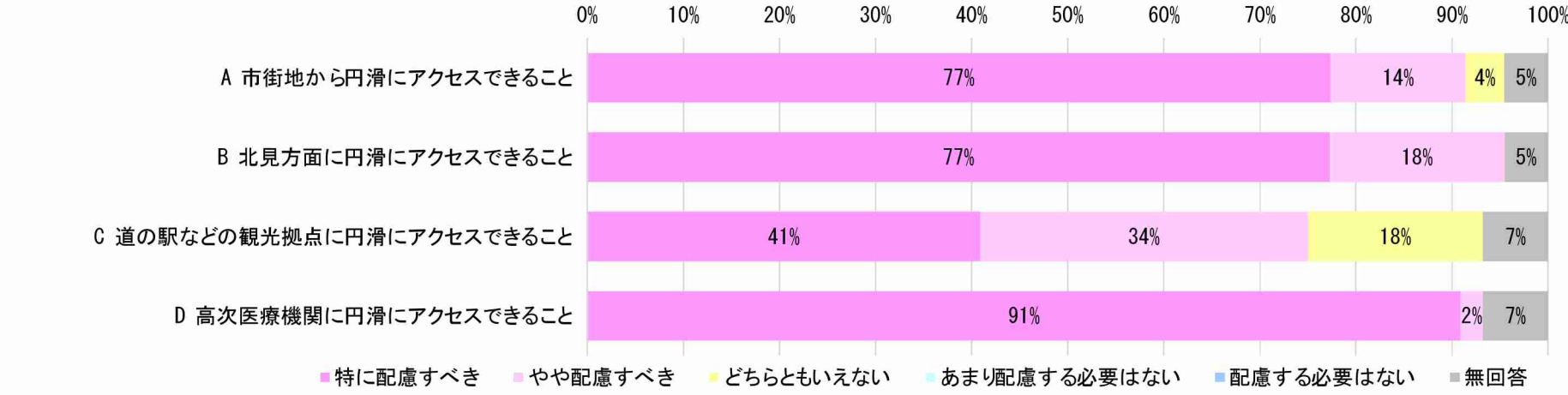
○第2回意見聴取の結果、対応方針（案）の検討にあたって、インターチェンジに配慮すべき事項について確認。

■インターチェンジに配慮すべき事項【アンケート】



総回答者数 N=6,882

■インターチェンジに配慮すべき事項【ヒアリング】



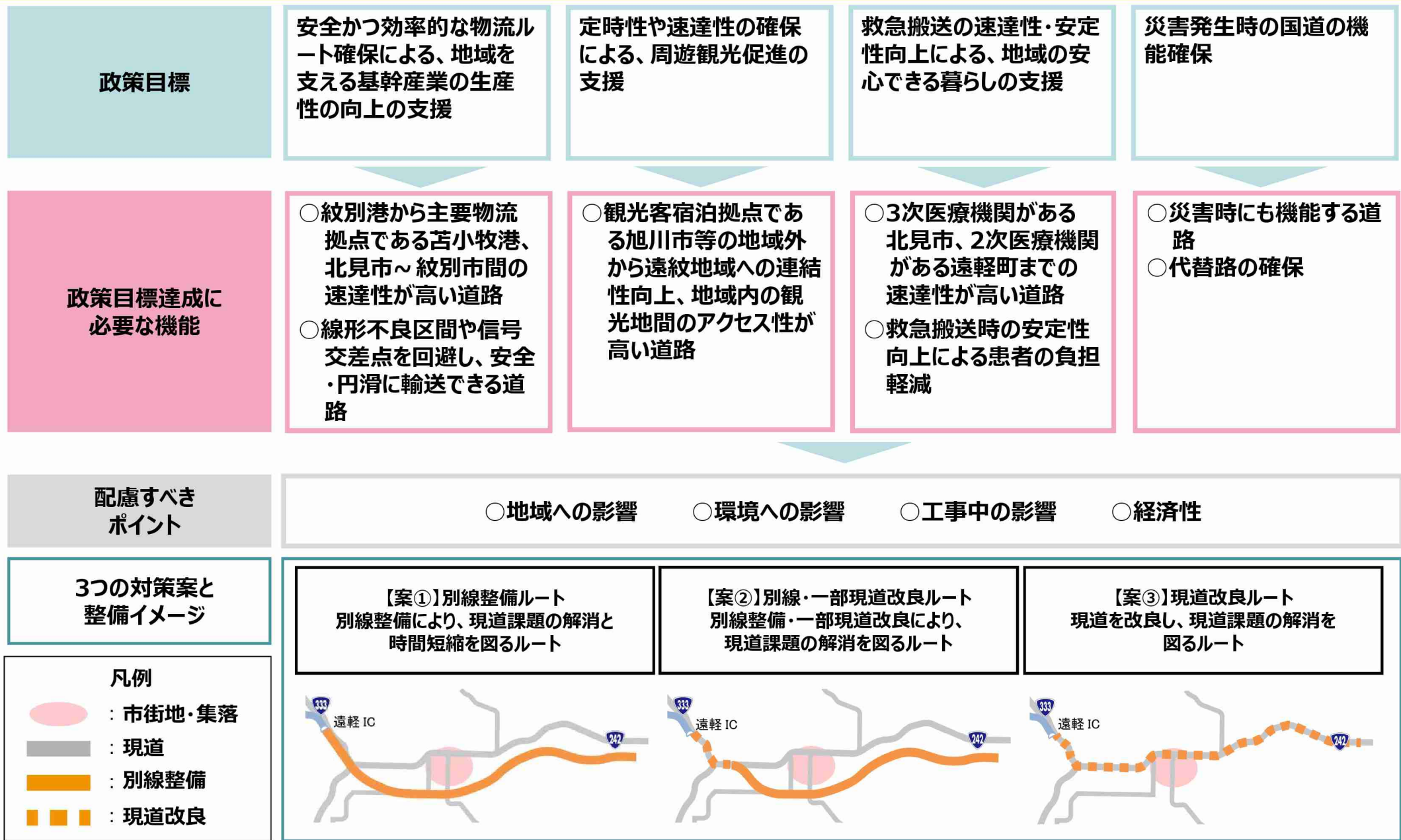
総回答者数 N=44

アンケート、ヒアリング結果からインターチェンジ位置について検討

3.対応方針（原案）の検討

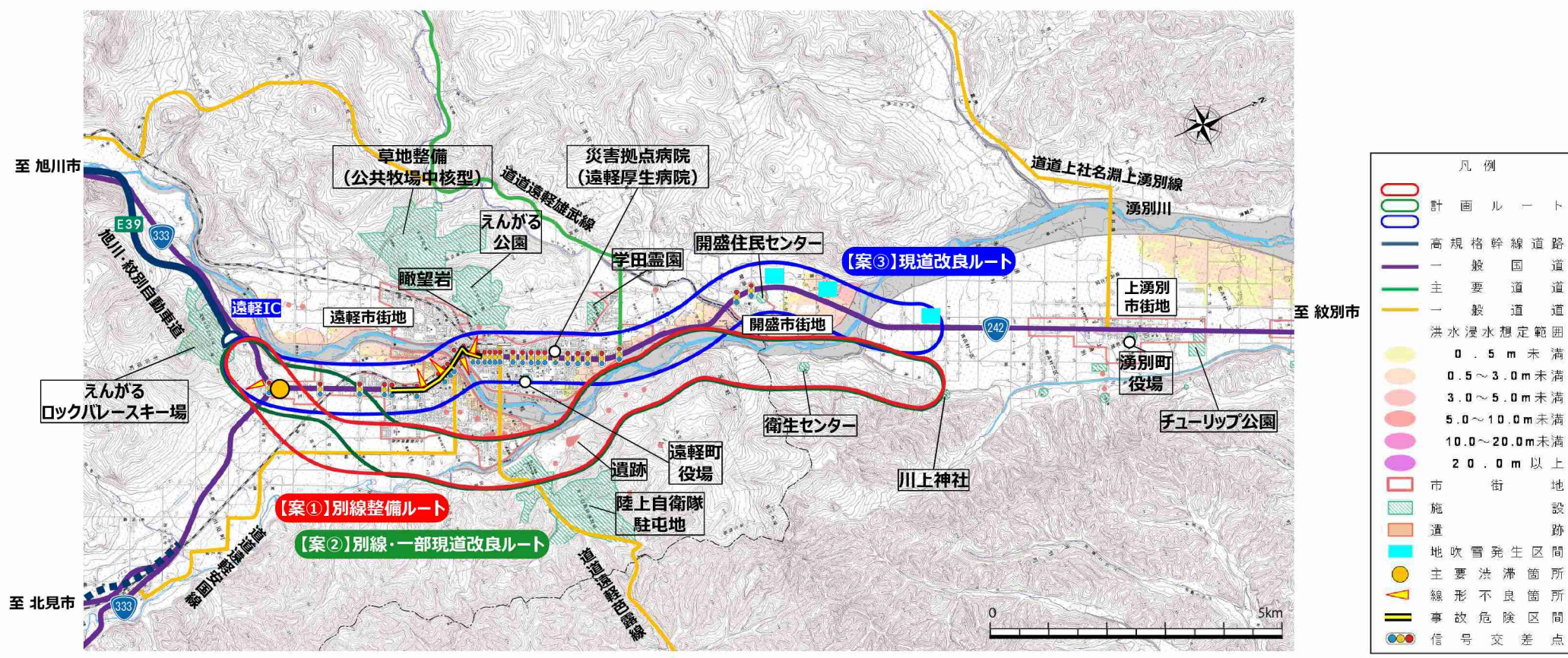
3-1) 路線の対策案の考え方

○第1回地域意見聴取で地域の課題、遠軽～上湧別間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような3つの対策案を設定。



3-2) 対策案の概要

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から3つの対策案を設定。



案①：別線整備ルート (別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート)	⇒	- 線形不良区間や信号交差点を全て回避し、安全性・安定性が向上するとともに、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果が大きい - 災害時にも国道機能を発揮し、代替路の確保が可能
案②：別線・一部現道改良ルート (別線整備・一部現道改良により、現道課題の解消を図るルート)	⇒	- 線形不良区間や信号交差点を一部回避し、安全性・安定性がやや向上するが、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で中位 - 災害時にも国道機能を発揮するが、代替路の確保は部分的
案③：現道改良ルート (現道を改良し、現道課題の解消を図るルート)	⇒	- 信号交差点が残り、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で最も劣る - 現道嵩上げ、防雪対策により、災害時にも国道機能を発揮するが、代替路は確保されない

3-3) 対策案の比較評価

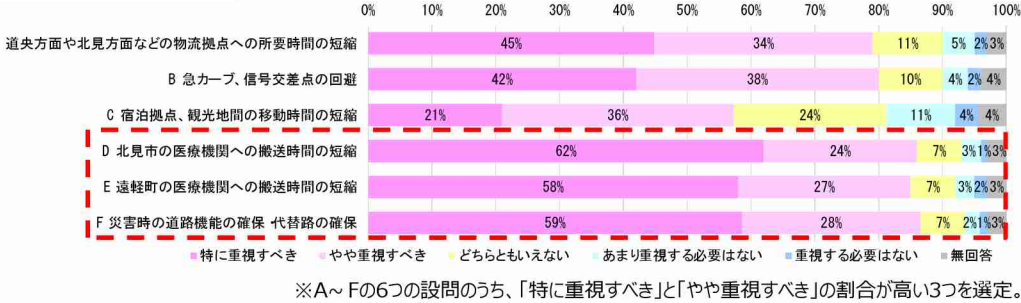
対策案の考え方			【案①】別線整備ルート		【案②】別線・一部現道改良ルート		【案③】現道改良ルート	
			別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート		別線整備・一部現道改良により現道課題の解消を図るルート		現道改良により、現道課題の解消を図るルート	
整備イメージ								
区間延長			約14km（自動車専用道路）		約14km（現道改良＋自動車専用道路）		約13km（現道改良）	
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	輸送時の速達性	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（16分短縮※1）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（15分短縮※1）が大きい	○	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（12分短縮※1）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（12分短縮※1）がやや小さい	○	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（3分短縮※1）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（3分短縮※1）が小さい	△
		輸送時の安全性	・ 線形不良区間を全て回避（5箇所→0箇所） ・ 信号交差点を全て回避（30箇所→0箇所）	◎	・ 線形不良区間を一部回避（5箇所→1箇所） ・ 信号交差点を一部回避（30箇所→2箇所）	○	・ 線形不良区間に中央分離帯を設置し、走行性を向上 ・ 信号交差点は現況と同じ（30箇所→30箇所）	△
	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	周遊観光時の速達性	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が大きい（16分短縮※1）	◎	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果がやや小さい（12分短縮※1）	○	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が小さい（3分短縮※1）	△
	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	高次医療機関への速達性	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（10分短縮※1）が大きい	◎	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（6分短縮※1）がやや小さい	○	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（3分短縮※1）が小さい	△
		救急搬送の安定性	・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率整備前：55%⇒整備後：76%※1）	◎	・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率整備前：55%⇒整備後：76%※1）	◎	・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加がやや小さい（遠紋地域の60分圏カバー人口率整備前：55%⇒整備後：64%※1）	○
	災害発生時の国道の機能確保	救急搬送の安定性	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避し、搬送患者の負担を軽減（信号交差点30箇所→0箇所、線形不良区間5箇所→0箇所）	◎	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を一部回避し、搬送患者の負担をやや軽減（信号交差点30箇所→2箇所、線形不良区間5箇所→1箇所）	○	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避しないため、搬送患者の負担の軽減は困難（信号交差点30箇所→30箇所、線形不良区間5箇所→5箇所）	△
災害時の道路機能の確保		・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	◎	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	◎	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	◎	
配慮すべき事項	代替路の確保	・ 全線別線にて整備することで代替路の確保が可能	◎	・ 一部現道を改良するため、部分的に代替路の確保が可能	○	・ 全線現道を改良するため、代替路が確保されない	△	
	地域への影響	家屋や土地利用への影響	・ 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	◎	・ 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	◎	・ 市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい	△
	環境への影響	自然環境への影響	・ 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	○	・ 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	○	・ 現道を改良するため、自然環境への影響は小さい	◎
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	・ 郊外部の別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい	◎	・ 国道接続部で、通行規制や沿道利用の現道交通への影響が発生	○	・ 国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい	△
経済性	経済性・概算事業費	・ 別線整備の延長が長く、案②より経済性に劣る	○	・ 別線整備の延長が短く、経済性に優れる	◎	・ 現道改良のため、用地費、補償費が大きく、案①・案②より経済性に劣る	△	
		約240～300億円		約210～270億円		約350～430億円		

※1 上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。
※2 比較表の評価は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載。
政策目標：【凡例】◎：効果が大きい、○：効果が比較的大きい、△：他案に比べ劣る
配慮すべき事項：【凡例】◎：影響小さい、○：影響が比較的小さい、△：他案に比べ劣る

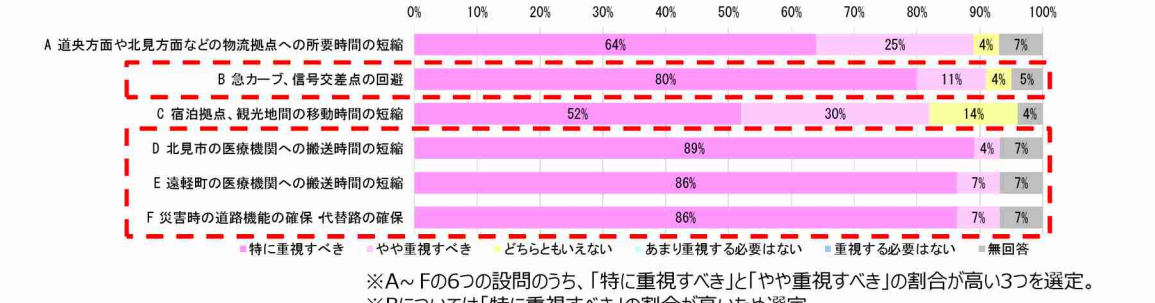
3-4) 対策案の比較評価 (対策案選定時に重視すべき項目)

- 政策目標の重視度については、すべての項目に対しアンケート結果では約6割以上、ヒアリング結果では約8割以上が重視すべきと回答。
- 特に、「北見市の医療機関への搬送時間の短縮」や「遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮」や「災害時の道路機能の確保・代替路の確保」がアンケート及びヒアリング結果双方で重視すべきと回答。

■アンケート調査



■ヒアリング調査



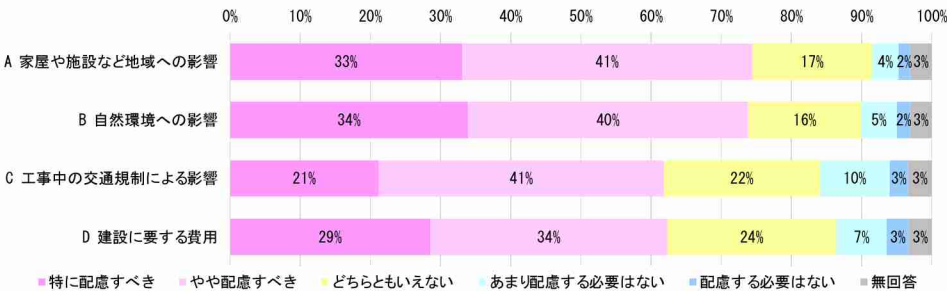
対策案の考え方			【案①】別線整備ルート		【案②】別線・一部現道改良ルート		【案③】現道改良ルート	
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	輸送時の速達性	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（16分短縮※1）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（15分短縮※1）が大きい	◎	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（12分短縮※1）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（12分短縮※1）がやや小さい	○	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（3分短縮※1）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（3分短縮※1）が小さい	△
		輸送時の安全性	・ 線形不良区間を全て回避（5箇所→0箇所） ・ 信号交差点を全て回避（30箇所→0箇所）	◎	・ 線形不良区間を一部回避（5箇所→1箇所） ・ 信号交差点を一部回避（30箇所→2箇所）	○	・ 線形不良区間に中央分離帯を設置し、走行性を向上 ・ 信号交差点は現況と同じ（30箇所→30箇所）	△
	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	周遊観光時の速達性	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が大きい（16分短縮※1）	◎	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果がやや小さい（12分短縮※1）	○	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が小さい（3分短縮※1）	△
		高次医療機関への速達性	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（10分短縮※1）が大きい ・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%→整備後：76%※1）	◎	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（6分短縮※1）がやや小さい ・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%→整備後：76%※1）	○	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（3分短縮※1）が小さい ・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加がやや小さい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%→整備後：64%※1）	○
	災害発生時の国道の機能確保	救急搬送の安定性	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避し、搬送患者の負担を軽減（信号交差点30箇所→0箇所、線形不良区間5箇所→0箇所）	◎	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を一部回避し、搬送患者の負担をやや軽減（信号交差点30箇所→2箇所、線形不良区間5箇所→1箇所）	○	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避しないため、搬送患者の負担の軽減は困難（信号交差点30箇所→30箇所、線形不良区間5箇所→5箇所）	△
		代替路の確保	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所） ・ 全線別線にて整備することで代替路の確保が可能	◎	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所） ・ 一部現道を改良するため、部分的に代替路の確保が可能	○	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所） ・ 全線現道を改良するため、代替路が確保されない	△

※1 比較表の評価は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載。【凡例】◎：効果が大きい、○：効果が比較的大きい、△：他案に比べ劣る
※2 比較表の着色部はアンケート及びヒアリングの双方または片方で重視されている上位の項目であり、 は評価が◎、 は評価が○、 は評価が△のもの。

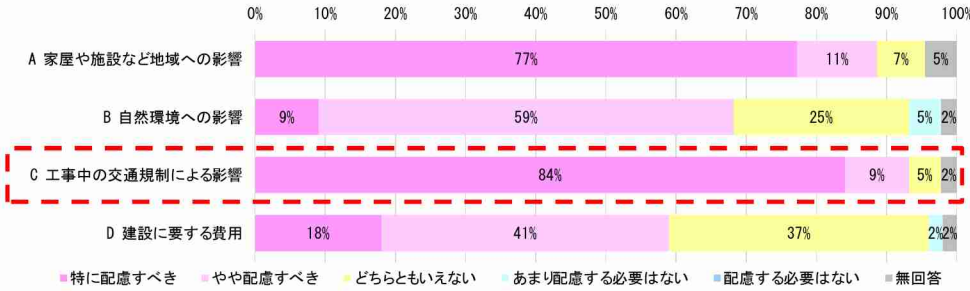
3-5) 対策案の比較評価 (対策案選定時に配慮すべき項目)

- 配慮すべき事項の重視度については、すべての項目に対しアンケート結果では約6割以上、ヒアリング結果では約6割以上が配慮すべきと回答。
- アンケート結果では「家屋や施設など地域への影響」や「自然環境への影響」、ヒアリング結果では「工事中の交通規制による影響」や「家屋や施設など地域への影響」に配慮すべきと回答。

■ アンケート調査



■ ヒアリング調査



※A～Dの4つの設問のうち、「特に配慮すべき」と「やや配慮すべき」の割合が最も高いものを選定。

対策案の考え方			【案①】別線整備ルート		【案②】別線・一部現道改良ルート		【案③】現道改良ルート	
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	◎	市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	◎	市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい	△
	環境への影響	自然環境への影響	山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	○	山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	○	現道を改良するため、自然環境への影響は小さい	◎
	工事中的の影響	工事中的の現道交通への影響	郊外部の別線整備のため、工事中的の現道交通への影響は小さい	◎	国道接続部で、通行規制や沿道利用の現道交通への影響が発生	○	国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい	△
	経済性	経済性・概算事業費	別線整備の延長が長く、案②より経済性に劣る	○	別線整備の延長が短く、経済性に優れる	◎	現道改良のため、用地費、補償費が大きく、案①・案②より経済性に劣る	△
			約240～300億円		約210～270億円		約350～430億円	

※1 比較表の評価は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載。【凡例】◎：影響が小さい、○：影響が比較的小さい、△：他案と比べ劣る
※2 比較表の着色部はアンケート及びヒアリングの双方または片方で重視されている上位の項目であり、 は評価が◎、 は評価が○、 は評価が△のもの。

3-6) 対応方針（原案）の検討

対策案の考え方					【案①】別線整備ルート	【案②】別線・一部現道改良ルート	【案③】現道改良ルート
整備イメージ							
評価指標		割合※1			延長 約14km（自動車専用道路）	延長 約14km（現道改良＋自動車専用道路）	延長 約13km（現道改良）
		アンケート	ヒアリング				
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	輸送時の速達性	79%	89%	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（16分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（15分短縮※）が大きい	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（12分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（12分短縮※）がやや小さい	・ 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（3分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（3分短縮※）が小さい
		輸送時の安全性	80%	91%	・ 線形不良区間を全て回避（5箇所→0箇所） ・ 信号交差点を全て回避（30箇所→0箇所）	・ 線形不良区間を一部回避（5箇所→1箇所） ・ 信号交差点を一部回避（30箇所→2箇所）	・ 線形不良区間に中央分離帯を設置し、走行性を向上 ・ 信号交差点は現況と同じ（30箇所→30箇所）
	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	周遊観光時の速達性	57%	82%	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が大きい（16分短縮※）	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果がやや小さい（12分短縮※）	・ 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が小さい（3分短縮※）
	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	高次医療機関への速達性	86%	93%	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（10分短縮※）が大きい	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（6分短縮※）がやや小さい	・ 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（3分短縮※）が小さい
			85%	93%	・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率整備前：55%⇒整備後：76%※）	・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率整備前：55%⇒整備後：76%※）	・ 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加がやや小さい（遠紋地域の60分圏カバー人口率整備前：55%⇒整備後：64%※）
	災害発生時の国道の機能確保	救急搬送の安定性	80%	91%	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避し、搬送患者の負担を軽減（信号交差点30箇所→0箇所、線形不良区間5箇所→0箇所）	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を一部回避し、搬送患者の負担をやや軽減（信号交差点30箇所→2箇所、線形不良区間5箇所→1箇所）	・ 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避しないため、搬送患者の負担の軽減は困難（信号交差点30箇所→30箇所、線形不良区間5箇所→5箇所）
		災害時の道路機能の確保	87%	93%	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	・ 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	74%	88%	・ 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	・ 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	・ 市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい
	環境への影響	自然環境への影響	74%	68%	・ 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	・ 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	・ 現道を改良するため、自然環境への影響は小さい
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	62%	93%	・ 郊外部の別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい	・ 国道接続部で、通行規制や沿道利用の現道交通への影響が発生	・ 国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい
	経済性	経済性・概算事業費	63%	59%	・ 別線整備の延長が長く、案②より経済性に劣る	・ 別線整備の延長が短く、経済性に優れる	・ 用地費、補償費が大きく、案①・案②より経済性に劣る
					約240～300億円	約210～270億円	約350～430億円

注1 アンケート・ヒアリング調査結果のうち、「特に重視すべき」「重視すべき」と回答した人の割合。なお、四捨五入の関係で数値が合わない場合がある。

注2 比較表の評価は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載。【凡例】◎：効果が大きい/影響が小さい、○：効果が比較的大きい/影響が比較的小さい、△：他案と比べ劣る

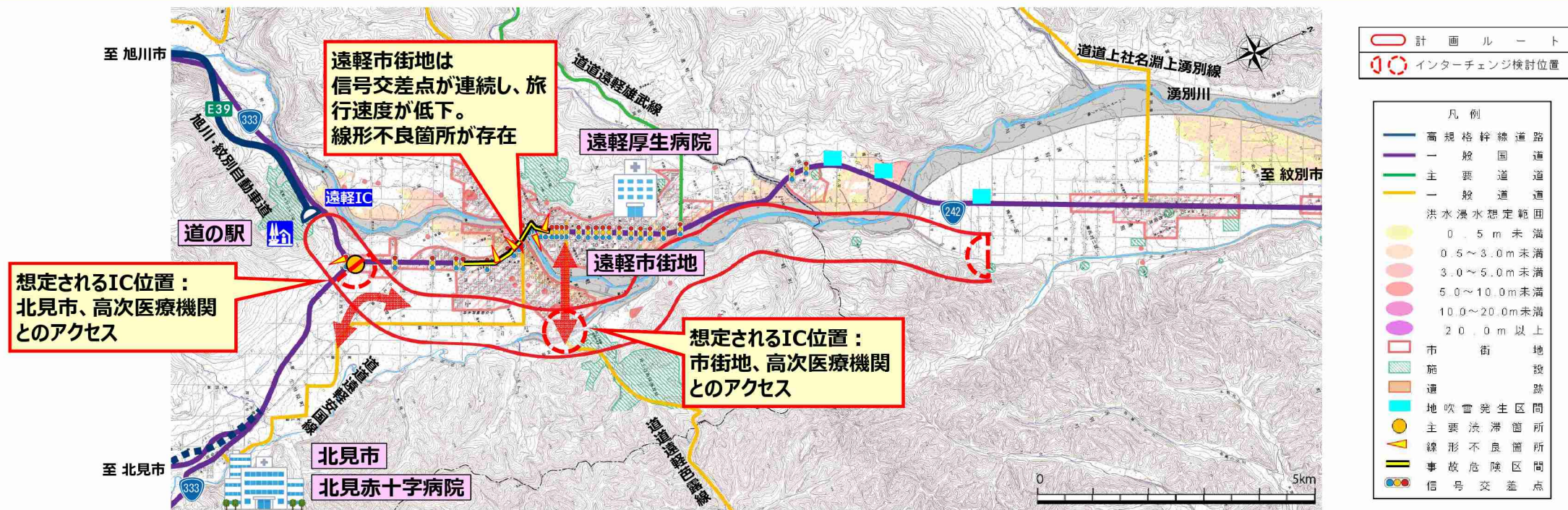
注3 比較表の着色部はアンケート及びヒアリングの双方または片方で重視されている上位の項目であり、 は評価が◎、 は評価が○、 は評価が△のもの。

※ 上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

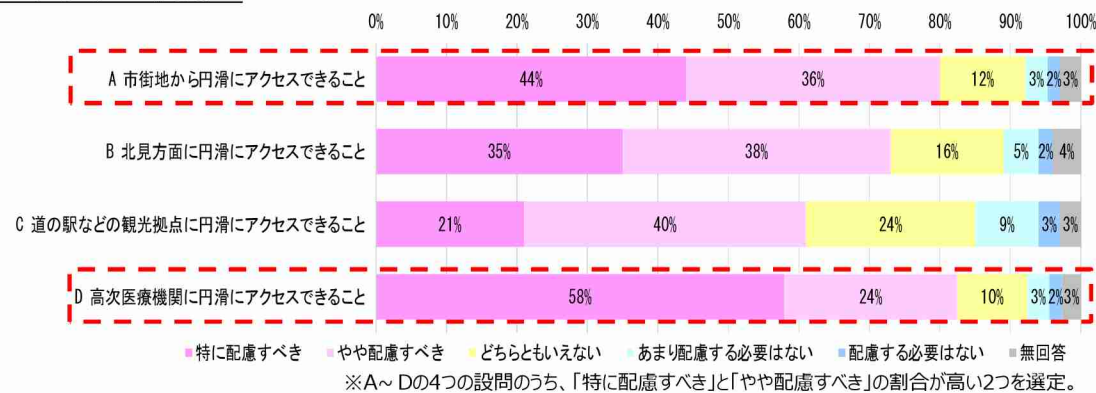
比較評価の結果、対応方針（原案）については、全ての政策目標の達成が概ね見込め、かつ、地域が望む重視・配慮すべき項目に適切に対応可能な【案①】別線整備ルートに対応方針（原案）とする。

3-7) 対応方針（原案）の検討（インターチェンジに配慮すべき事項）

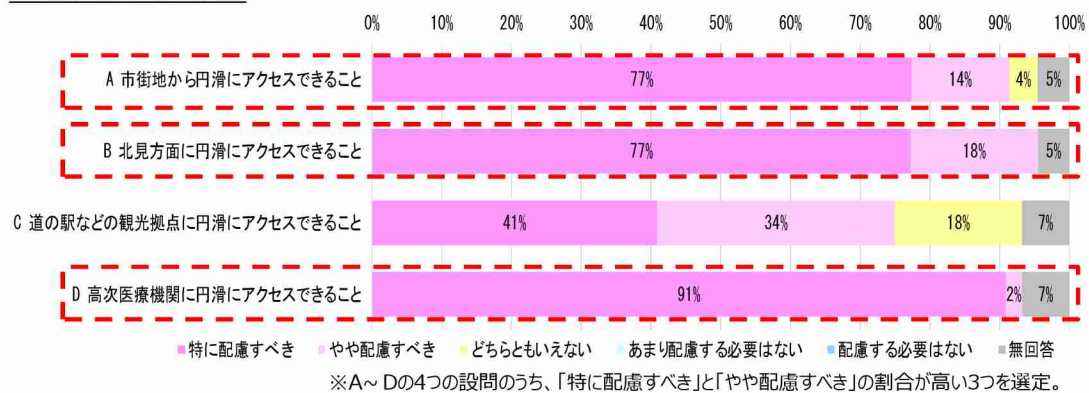
- インターチェンジの配置については、遠軽市街地の信号交差点の連続箇所や線形不良箇所を回避しつつ、高次医療機関や中心市街地との円滑な連絡、交通混雑の緩和に配慮。
- 地域意見聴取においても、「市街地から円滑にアクセスできること」や「北見方面に円滑にアクセスできること」、「高次医療機関に円滑にアクセスできること」について配慮すべきとの回答が多かった。



■アンケート調査



■ヒアリング調査



4.自治体への意見照会結果

4-1) 自治体への意見照会結果（対応方針（原案）に対する意見）

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
北海道	○一般国道450号 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別間)の対応方針（原案）について同意します。 ○本道における高規格幹線道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域観光の振興、地域経済の活性化への貢献のほか、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。 ○「一般国道450号 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別間)」の整備は、農水産物の輸送をはじめとする物流の効率化、オホーツク地域の周遊観光等の振興、安全で確実な交通の確保、救急搬送時間の短縮など多くの効果を発揮するものと考えています。 ○このため、北海道としても、事業化の際には当該区間の整備効果が最大限発揮されるよう、関係市町と連携してまいります。 ○つきましては、対応方針の決定に際し、地域の意見を十分反映していただくとともに、当該道路を早期に事業化していただくよう特段のご配慮をお願いいたします。

■自治体意見照会の回答（北海道知事）

建 政 第 734 号
令和3年（2021年）2月12日

北海道開発局長 倉内公嘉 様

北海道知事 鈴木 直道

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

日頃から北海道の建設行政の推進につきましては、格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年2月3日付け北開局道計第124号で照会のありましたこのことについて、次のとおり回答いたします。

記

一般国道450号 旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）の対応方針（原案）について同意します。

本道における高規格幹線道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域観光の振興、地域経済の活性化への貢献のほか、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。

「一般国道450号 旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）」の整備は、農水産物の輸送をはじめとする物流の効率化、オホーツク地域の周遊観光等の振興、安全で確実な交通の確保、救急搬送時間の短縮など多くの効果を発揮するものと考えています。

このため、北海道としても、事業化の際には当該区間の整備効果が最大限発揮されるよう、関係市町と連携してまいります。

つきましては、対応方針の決定に際し、地域の意見を十分反映していただくとともに、当該道路を早期に事業化していただくよう特段のご配慮をお願いいたします。

連絡先

建設部建設政策局建設政策課

政策調整係

TEL 011-231-4111 内線 29-124

FAX 011-232-9162

5.対応方針（案）のまとめ

5-1) 対応方針（案）

1. 道路整備の必要性

【課題】

- 遠紋地域は、日本の食や生活を支える農林水産物の生産地であるが、物流拠点まで長距離輸送を要するため、輸送の効率性と安全性が課題。
- 遠紋地域は、花の名所めぐりが楽しめる「花回遊」や流氷観光など、魅力的な自然を生かした観光の推進に取り組む中、宿泊拠点となる地域から遠く、周遊性に課題。
- 高次医療は3次救急医療機関をオホーツク圏で唯一有する北見市に依存しているが、カバー面積は全国平均の約8倍と広大なため、速達性や安定走行の向上が課題。
- 近年多発する異常気象に備え、災害時における代替路や拠点施設への確実なアクセス路の確保による救援体制の実現が課題。



【政策目標】

- 安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援。
- 定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援。
- 救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援。
- 災害発生時の国道の機能確保。

2. 対応方針（案）

【案①】別線整備ルートを対応方針（案）とする。

【理由】

- 【案①】別線整備ルートは、【案②】別線・一部現道改良ルート、【案③】現道改良ルートに比べ、概ね全ての政策目標において、同等以上の達成が見込め、優れている。
- 地域意見聴取の結果、政策目標の達成のためには、「北見市の医療機関への搬送時間の短縮」や「遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮」や「災害時の道路機能の確保・代替路の確保」がアンケート及びヒアリング双方で重視されている。
- 事業にあたって配慮すべき事項として、アンケートでは「家屋や施設など地域への影響」や「自然環境への影響」、ヒアリングでは「工事中の交通規制による影響」や「家屋や施設など地域への影響」が重視されている。
- インターチェンジの詳細な位置や構造については、地域意見聴取の結果を踏まえ、「高次医療機関に円滑にアクセスできること」や「市街地から円滑にアクセスできること」や「北見方面に円滑にアクセスできること」等に寄与する配置とする。

3. その他

- 今後の詳細な道路構造等の検討にあたっては、地域への影響、自然環境への影響、工事中の現道交通への影響、経済性等に配慮しながら、計画を進める。

5-2) 対応方針（案）

- 洪水浸水想定範囲、地吹雪発生区間を回避し、高次医療施設への速達性・安定性の向上が図られる、【案①】別線整備ルートを対策方針（案）とする。
- インターチェンジの配置については、政策目標の達成や遠軽市街地の信号交差点の連続や線形不良箇所による、速度低下や安全性低下に配慮した配置案とする。

